

利用上の注意

この報告書は、経済産業省生産動態統計調査及び神奈川県工業生産統計調査等の結果に基づき、平成27年の工業生産指数を集録したものです。

1 工業生産指数

工業生産指数とは、経済産業省及び本県の指定する品目の、毎月末現在における生産・出荷及び在庫の数量等を把握し、工業生産活動の推移を指数化して示したものです。なお、国機関等との指数比較をする際には「製造工業指数」と表記しています。

2 原指数と季節調整済指数

原指数は、年別の動向や前年比を長期的に観察する場合に使用し、季節調整済指数は、月々の動向や四半期別の動向を短期的に観察する場合に使用しています。

このため、本文中で使用している前年（末）比は原指数を、前期（末）比は季節調整済指数を用いて算出しています。

3 その他

(1) 本書で使用している略称、記号等

「生産指数」、「生産者出荷指数」、「生産者製品在庫指数」、「生産者製品在庫率指数」をそれぞれ「生産（指数）」、「出荷（指数）」、「在庫（指数）」、「在庫率（指数）」と略記しています。また、指数の伸び率は原則として「上昇」、「低下」を用いますが、品目別の指数については「増加」、「減少」を用いており、一部で「増加」を「増」、「減少」を「減」と略記しています。

なお、「○年」とあるものは暦年間（1～12月）を示し、「Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」は「1～3月期（末）」、「4～6月期（末）」、「7～9月期（末）」、「10～12月期（末）」を表しています。

グラフ、表中における記号の用法は以下のとおりです。

「—」・・・該当がないもの 「△」・・・マイナス（比較減）
「X」・・・数値が秘匿されているもの

(2) 業種分類、採用品目数等

「神奈川県工業生産指数について」（P83～P92）を参照してください。

I 神奈川県工業生産の動向

1 概要 ー生産指数は前年比△0.9%と5年連続して低下ー

(1) 生産の動向

生産指数（原指数）は、87.5で前年比0.9%低下し、5年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比3.4%上昇し2期連続して上昇、II期は同3.4%低下、III期も同1.2%低下、IV期は同2.4%上昇しました。

<全国及び局管内の動き>

全国の製造工業指数（原指数）は、97.8で前年比1.2%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比1.1%上昇し2期連続して上昇、II期は同1.3%低下、III期も同0.9%低下、IV期は同0.0%で横ばいとなりました。

関東経済産業局管内の製造工業指数（原指数）は、94.0で前年比1.6%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比1.7%上昇し2期連続して上昇、II期は同1.9%低下、III期も同2.2%低下、IV期は同0.1%上昇しました。

(2) 出荷の動向

出荷指数（原指数）は、86.6で前年比1.3%低下し、5年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比2.9%上昇し2期連続して上昇、II期は同2.8%低下、III期も同2.4%低下、IV期は同2.6%上昇しました。

(3) 在庫の動向

在庫指数（原指数）は、89.1で前年末比0.7%低下し、4年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期末比3.8%上昇し4期ぶりに上昇、II期は同3.3%低下、III期は同0.5%上昇、IV期は同0.8%低下しました。

◎ 年間の動き

以上のように、生産・出荷指数（季節調整済指数）は、I期、IV期は上昇、II期、III期は低下しました。在庫指数（同）の前期末比では、I期、III期は上昇、II期、IV期は低下しました。

また、生産・出荷指数（原指数）の前年同期比では、生産指数はI期を除いて各期とも上昇しました。出荷指数はII期を除いて各期とも低下しました。在庫指数（同）の前年同期末比は、III期を除いて各期とも低下しました。

県内の工業生産は5年連続して低下し、平成27年は輸送機械工業や情報通信機械工業などが低下に寄与しました。

全国の工業生産の前年同期比では、各期とも低下しました。

（P2図1・表1、P5表3、P6表4 参照）

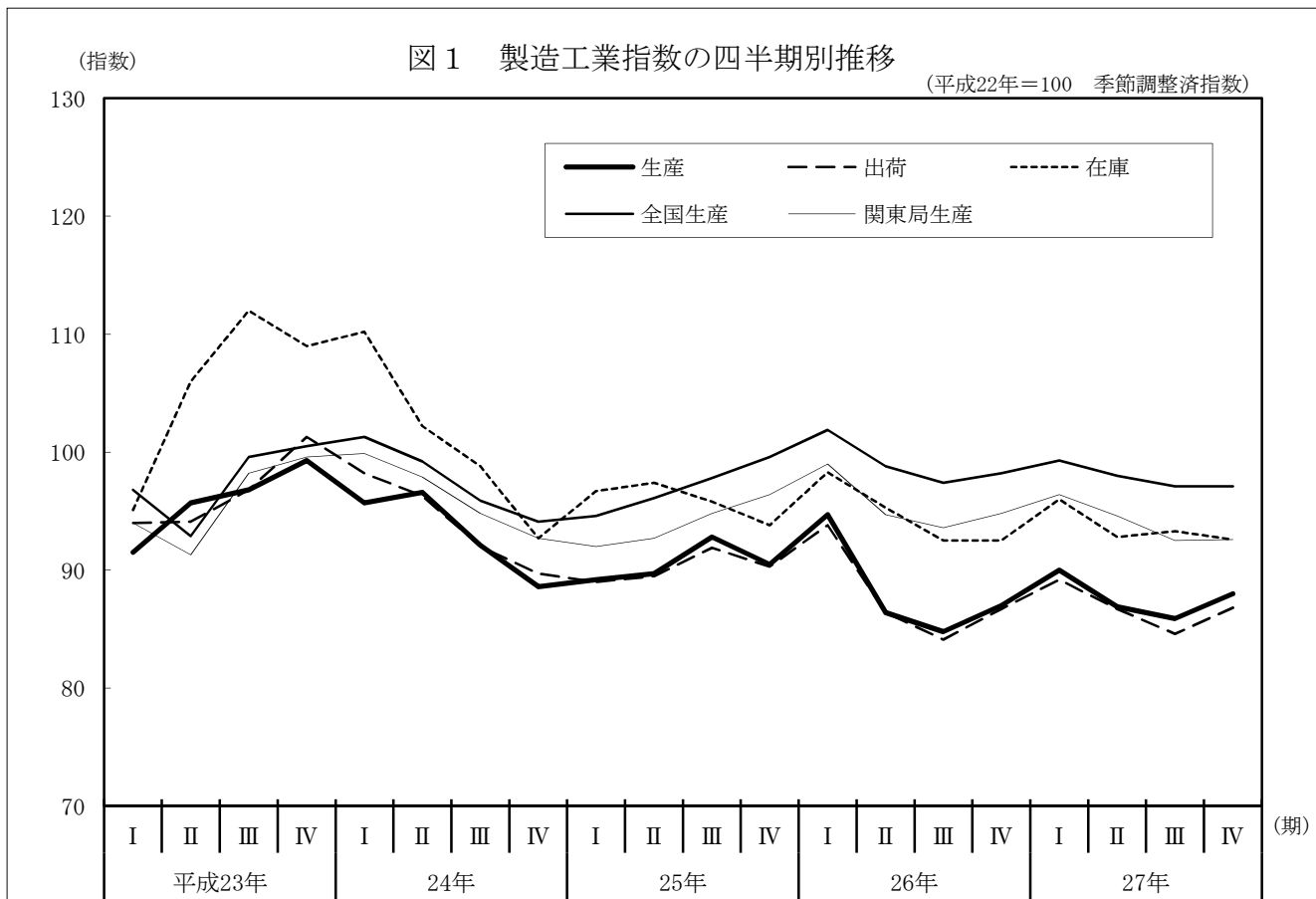


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(平成22年=100)

		平成23年	24年	25年	26年	27年	27年			
							I	II	III	IV
神奈川県	指数	95.3	93.6	90.5	88.3	87.5	90.0	86.9	85.9	88.0
	生産	対前年(期)増減率% △ 4.7	△ 1.8	△ 3.3	△ 2.4	△ 0.9	3.4	△ 3.4	△ 1.2	2.4
		対前年同期増減率%	-	-	-	-	△ 4.1	0.2	0.3	0.6
	指数	96.0	94.5	90.1	87.7	86.6	89.2	86.7	84.6	86.8
	出荷	対前年(期)増減率% △ 4.0	△ 1.6	△ 4.7	△ 2.7	△ 1.3	2.9	△ 2.8	△ 2.4	2.6
		対前年同期増減率%	-	-	-	-	△ 4.4	0.4	△ 0.5	△ 0.1
	指数	108.8	92.4	92.2	89.7	89.1	96.0	92.8	93.3	92.6
	在庫	対前年(期)末増減率% 7.9	△ 15.1	△ 0.2	△ 2.7	△ 0.7	3.8	△ 3.3	0.5	△ 0.8
		対前年同期末増減率%	-	-	-	-	△ 1.3	△ 2.8	0.4	△ 0.7
全国	指数	97.2	97.8	97.0	99.0	97.8	99.3	98.0	97.1	97.1
	生産	対前年(期)増減率% △ 2.8	0.6	△ 0.8	2.1	△ 1.2	1.1	△ 1.3	△ 0.9	0.0
		対前年同期増減率%	-	-	-	-	△ 2.3	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8
関東経済産業局管内	指数	95.4	96.6	94.0	95.5	94.0	96.4	94.6	92.5	92.6
	生産	対前年(期)増減率% △ 4.6	1.3	△ 2.7	1.6	△ 1.6	1.7	△ 1.9	△ 2.2	0.1
		対前年同期増減率%	-	-	-	-	△ 1.8	△ 0.1	△ 2.1	△ 2.3

* 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数。ただし、対前年同期(末)増減率は原指数で計算

* 関東経済産業局管内：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県の地域

(4) 業種別の動向

<生産>

業種別にみると、駆動伝導・操縦装置部品や小型乗用車などが減少した輸送機械工業（前年比 3.7%低下）や、交換機などが減少した情報通信機械工業（同 4.0%低下）など 11 業種が低下しました。

また、ガソリンなどが増加した石油・石炭製品工業（前年比 6.6%上昇）など 7 業種が上昇しました。

<出荷>

業種別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが減少した輸送機械工業（前年比 3.8%低下）や、特殊鋼鋼管などが減少した鉄鋼業（同 13.5%低下）など 13 業種が低下しました。

また、ガソリンなどが増加した石油・石炭製品工業（前年比 6.0%上昇）など 5 業種が上昇しました。

<在庫>

業種別にみると、普通トラックや大型バスなどが減少した輸送機械工業（前年末比 21.8%低下）や特殊鋼鋼管などが減少した鉄鋼業（同 8.6%低下）など 8 業種が低下しました。

また、合成ゴムなどが増加した化学工業（前年末比 10.9%上昇）など 8 業種が上昇しました。

（P 3 図 2、P 4 表 2、P 5 表 3 参照）

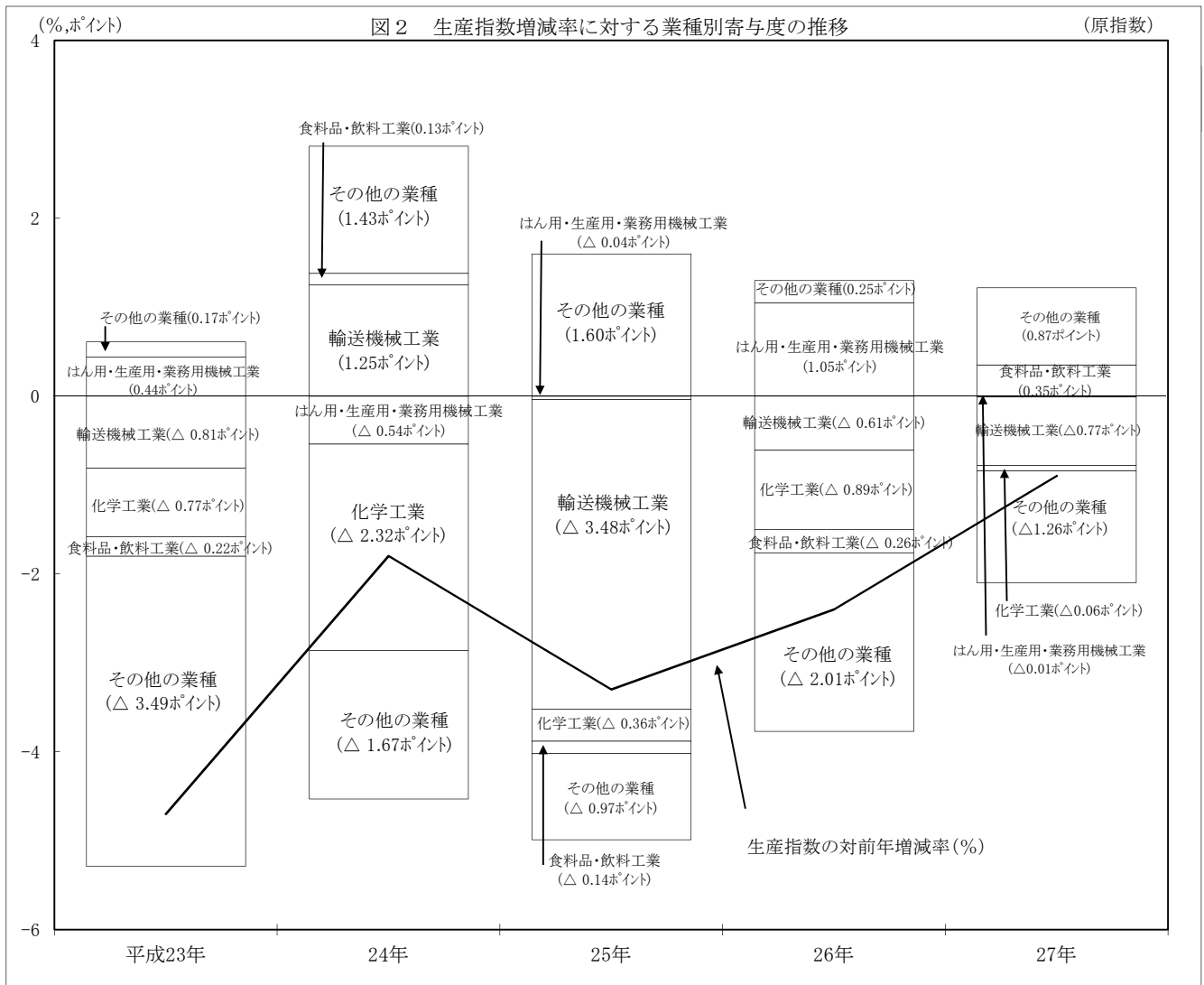


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 87.5 対前年増減率 $\Delta 0.9\%$ 上昇7業種、低下11業種

業 種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上 昇	石油・石炭製品工業	6.6	0.51	増	ガソリン、軽油、ナフサなど
				減	コークス、アスファルト、潤滑油など
	食料品・飲料工業	3.6	0.35	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、ビール・発泡酒など
				減	チーズ、チョコレート、冷凍調理食品など
低	輸送機械工業	Δ 3.7	Δ 0.77	増	けん引車、特装ボデー、船用ディーゼル機関など
				減	駆動伝導・操縦装置部品、小型乗用車、普通乗用車など
	情報通信機械工業	Δ 4.0	Δ 0.33	増	パーソナルコンピュータ、無線応用装置、放送装置など
				減	交換機、基地局通信装置、デジタル伝送装置など
	窯業・土石製品工業	Δ 7.5	Δ 0.25	増	ガラス短繊維製品、触媒担体・セラミックフィルタ、道路用コンクリート製品
				減	生コンクリート、ガラス製容器類、板ガラスなど
下	化学工業	Δ 0.4	Δ 0.06	増	化粧品、合成洗剤、合成ゴムなど
				減	ウレタンフォーム、アクリロニトリル、医薬品など
	はん用・生産用・業務用機械工業	Δ 0.1	Δ 0.01	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置、マシニングセンタなど
				減	装軌式トラクタ、掘さく機械、蒸気タービン部品など

(2) 出荷 年指数 86.6 対前年増減率 $\Delta 1.3\%$ 上昇5業種、低下13業種

業 種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上 昇	石油・石炭製品工業	6.0	1.01	増	ガソリン、軽油、ナフサなど
				減	液化石油ガス、C重油、アスファルトなど
	食料品・飲料工業	2.0	0.16	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、ビール・発泡酒、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)など
				減	冷凍調理食品、チーズ、チョコレートなど
低	輸送機械工業	Δ 3.8	Δ 0.88	増	けん引車、小型バス、船用ディーゼル機関など
				減	小型乗用車、普通乗用車、駆動伝導・操縦装置部品など
	鉄鋼業	Δ 13.5	Δ 0.64	増	鋼半製品
				減	特殊鋼鋼管、特殊鋼熱間圧延鋼材、めっき鋼材など
	情報通信機械工業	Δ 5.8	Δ 0.35	増	パーソナルコンピュータ、無線応用装置、放送装置など
				減	基地局通信装置、交換機、外部記憶装置など
下	はん用・生産用・業務用機械工業	Δ 0.9	Δ 0.11	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置、マシニングセンタなど
				減	装軌式トラクタ、掘さく機械、蒸気タービン部品など
	化学工業	Δ 0.6	Δ 0.08	増	化粧品、エチレン、キシレンなど
				減	ウレタンフォーム、アクリロニトリル、医薬品など

(3) 在庫 年指数 89.1 対前年末増減率 $\Delta 0.7\%$ 上昇8業種、低下8業種

業 種		対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上 昇	化学工業	10.9	2.64	増	合成ゴム、合成洗剤、純ベンゼンなど
				減	キシレン、写真フィルム、ウレタンフォームなど
	石油・石炭製品工業	16.7	2.30	増	ガソリン、C重油、灯油など
				減	コークス、潤滑油、液化石油ガス
	食料品・飲料工業	2.1	0.11	増	蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、練乳・粉乳、ビール・発泡酒など
				減	チョコレート、小麦粉、混合植物油脂など
低	輸送機械工業	Δ 21.8	Δ 2.63	増	小型バス、けん引車、普通乗用車など
				減	普通トラック、大型バス、小型トラック
	鉄鋼業	Δ 8.6	Δ 1.27	増	普通鋼鋼帯、鋼半製品、普通鋼磨棒鋼・線類
				減	特殊鋼鋼管、普通鋼鋼板、特殊鋼熱間圧延鋼材など
下	はん用・生産用・業務用機械工業	Δ 8.1	Δ 0.78	増	掘さく機械、建設用クレーン、パッケージ形エアコンなど
				減	装軌式トラクタ、マシニングセンタ、積算体積計など
	金属製品工業	Δ 11.5	Δ 0.60	増	食缶、ドラム缶、超硬チップなど
				減	飲料用アルミ缶、ガス機器、一般缶など

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(平成22年=100 原指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		24年	25年	26年	27年	24年	25年	26年	27年	24年	25年	26年	27年	24年	25年	26年	27年
製造工業	指 数	93.6	90.5	88.3	87.5	94.5	90.1	87.7	86.6	92.4	92.2	89.7	89.1	104.8	101.0	104.0	146.4
	対前年増減率%	△ 1.8	△ 3.3	△ 2.4	△ 0.9	△ 1.6	△ 4.7	△ 2.7	△ 1.3	△ 15.1	△ 0.2	△ 2.7	△ 0.7	△ 1.8	△ 3.6	3.0	40.8
鉄鋼業	指 数	87.0	89.9	94.4	84.2	88.8	90.6	96.5	83.5	91.7	103.8	99.2	90.7	100.1	104.0	107.9	120.0
	対前年増減率%	△ 8.0	3.3	5.0	△ 10.8	△ 8.4	2.0	6.5	△ 13.5	△ 0.4	13.2	△ 4.4	△ 8.6	△ 7.7	3.9	3.8	11.2
非鉄金属工業	指 数	100.6	95.5	104.4	104.3	99.6	95.7	105.1	103.9	131.5	135.0	133.6	116.1	123.4	127.3	120.4	130.4
	対前年増減率%	8.2	△ 5.1	9.3	△ 0.1	7.0	△ 3.9	9.8	△ 1.1	10.2	2.7	△ 1.0	△ 13.1	7.3	3.2	△ 5.4	8.3
金属製品工業	指 数	102.3	97.0	92.4	87.6	99.2	93.3	89.6	85.4	111.0	115.6	107.2	94.9	120.4	135.0	143.8	134.2
	対前年増減率%	3.1	△ 5.2	△ 4.7	△ 5.2	0.2	△ 5.9	△ 4.0	△ 4.7	△ 5.7	4.1	△ 7.3	△ 11.5	△ 6.3	12.1	6.5	△ 6.7
はん用・生産用・業務用機械工業	指 数	99.3	99.0	107.3	107.2	100.6	98.5	102.9	102.0	81.3	78.5	83.6	76.8	81.9	77.7	72.9	128.6
	対前年増減率%	△ 4.3	△ 0.3	8.4	△ 0.1	△ 2.5	△ 2.1	4.5	△ 0.9	△ 35.1	△ 3.4	6.5	△ 8.1	△ 10.6	△ 5.1	△ 6.2	76.4
電子部品・デバイス工業	指 数	79.3	75.5	71.3	64.9	80.5	76.2	70.3	63.9	152.5	3.7	1.6	2.3	173.8	131.6	4.1	3.7
	対前年増減率%	△ 4.3	△ 4.8	△ 5.6	△ 9.0	△ 2.8	△ 5.3	△ 7.7	△ 9.1	△ 29.0	△ 97.6	△ 56.8	43.8	△ 3.8	△ 24.3	△ 96.9	△ 9.8
電気機械工業	指 数	86.5	89.6	88.4	92.1	84.6	88.2	85.9	90.5	53.9	58.1	63.5	63.2	52.0	62.7	78.0	92.6
	対前年増減率%	2.2	3.6	△ 1.3	4.2	△ 2.4	4.3	△ 2.6	5.4	40.7	7.8	9.3	△ 0.5	△ 13.6	20.6	24.4	18.7
情報通信機械工業	指 数	92.1	99.6	97.3	93.4	95.7	99.5	99.0	93.3	70.4	109.1	117.3	113.4	89.6	41.5	194.3	363.0
	対前年増減率%	15.7	8.1	△ 2.3	△ 4.0	17.0	4.0	△ 0.5	△ 5.8	△ 63.3	55.0	7.5	△ 3.3	△ 43.7	△ 53.7	368.2	86.8
輸送機械工業	指 数	101.7	86.9	84.4	81.3	100.9	83.5	80.9	77.8	80.2	70.6	80.3	62.8	95.8	88.8	80.7	310.7
	対前年増減率%	5.6	△ 14.6	△ 2.9	△ 3.7	5.1	△ 17.2	△ 3.1	△ 3.8	△ 35.9	△ 12.0	13.7	△ 21.8	△ 16.9	△ 7.3	△ 9.1	285.0
窯業・土石製品工業	指 数	100.2	97.2	86.5	80.0	96.9	89.2	78.6	72.4	88.1	80.0	70.0	63.6	95.7	104.1	96.3	91.4
	対前年増減率%	1.9	△ 3.0	△ 11.0	△ 7.5	0.5	△ 7.9	△ 11.9	△ 7.9	△ 6.8	△ 9.2	△ 12.5	△ 9.1	△ 8.7	8.8	△ 7.5	△ 5.1
化学工業	指 数	83.4	81.5	77.0	76.7	87.0	86.1	81.3	80.8	108.8	109.4	105.4	116.9	128.1	117.9	124.4	138.5
	対前年増減率%	△ 12.9	△ 2.3	△ 5.5	△ 0.4	△ 8.2	△ 1.0	△ 5.6	△ 0.6	△ 9.6	0.6	△ 3.7	10.9	13.9	△ 8.0	5.5	11.3
石油・石炭製品工業	指 数	84.5	93.6	87.7	93.5	89.7	95.0	88.7	94.0	83.5	77.4	71.7	83.7	106.2	94.2	100.7	96.1
	対前年増減率%	△ 13.0	10.8	△ 6.3	6.6	△ 9.6	5.9	△ 6.6	6.0	△ 7.6	△ 7.3	△ 7.4	16.7	11.4	△ 11.3	6.9	△ 4.6
プラスチック製品工業	指 数	88.7	79.6	70.7	72.9	86.8	76.6	70.7	69.5	91.9	96.1	68.4	78.2	110.1	112.2	107.6	104.8
	対前年増減率%	△ 7.2	△ 10.3	△ 11.2	3.1	△ 8.3	△ 11.8	△ 7.7	△ 1.7	△ 12.0	4.6	△ 28.8	14.3	△ 4.8	1.9	△ 4.1	△ 2.6
紙・紙加工品工業	指 数	106.1	109.6	112.0	114.1	105.4	107.5	107.3	102.3	77.8	86.0	71.0	81.9	86.9	85.7	74.7	71.6
	対前年増減率%	4.9	3.3	2.2	1.9	5.5	2.0	△ 0.2	△ 4.7	△ 13.1	10.5	△ 17.4	15.4	△ 18.8	△ 1.4	△ 12.8	△ 4.1
繊維工業	指 数	98.5	92.0	82.6	88.7	100.6	90.8	75.0	80.9	85.0	74.4	73.3	80.2	87.6	89.1	99.6	91.9
	対前年増減率%	△ 4.7	△ 6.6	△ 10.2	7.4	△ 4.6	△ 9.7	△ 17.4	7.9	△ 43.9	△ 12.5	△ 1.5	9.4	△ 15.9	1.7	11.8	△ 7.7
食料品・飲料工業	指 数	99.0	97.6	95.0	98.4	99.0	97.0	96.0	97.9	99.1	103.0	108.3	110.6	92.2	94.3	101.8	101.5
	対前年増減率%	1.4	△ 1.4	△ 2.7	3.6	0.2	△ 2.0	△ 1.0	2.0	△ 0.9	3.9	5.1	2.1	△ 6.9	2.3	8.0	△ 0.3
その他工業	指 数	108.9	109.5	106.3	102.7	106.1	105.5	104.2	99.9	100.6	116.4	92.2	93.2	106.0	119.4	111.0	131.5
	対前年増減率%	2.8	0.6	△ 2.9	△ 3.4	3.7	△ 0.6	△ 1.2	△ 4.1	3.3	15.7	△ 20.8	1.1	△ 5.9	12.6	△ 7.0	18.5
ゴム製品工業	指 数	99.3	99.0	94.7	85.6	101.2	100.1	98.9	88.4	100.6	116.4	92.2	93.2	106.0	119.4	111.0	131.5
	対前年増減率%	4.4	△ 0.3	△ 4.3	△ 9.6	5.7	△ 1.1	△ 1.2	△ 10.6	3.3	15.7	△ 20.8	1.1	△ 5.9	12.6	△ 7.0	18.5
家具工業	指 数	100.9	96.6	99.0	106.8	100.4	96.5	98.8	107.2								
	対前年増減率%	0.0	△ 4.3	2.5	7.9	0.5	△ 3.9	2.4	8.5	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	118.4	120.9	117.3	116.0	118.5	120.9	117.3	116.0								
	対前年増減率%	2.2	2.1	△ 3.0	△ 1.1	2.3	2.0	△ 3.0	△ 1.1	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)公益事業	指 数	115.3	112.6	110.1	107.2	95.2	91.7	90.1	86.7								
	対前年増減率%	15.3	△ 2.3	△ 2.2	△ 2.6	3.5	△ 3.7	△ 1.7	△ 3.8	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)機械工業	指 数	96.9	91.4	91.4	89.4	97.9	88.7	87.8	85.2	78.8	73.9	81.4	69.9	87.7	81.1	81.8	227.0
	対前年増減率%	3.5	△ 5.7	0.0	△ 2.2	3.6	△ 9.4	△ 1.0	△ 3.0	△ 35.7	△ 6.2	10.1	△ 14.1	△ 16.2	△ 7.5	0.9	177.5

*生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)

*公益事業、機械工業は参考系列(P83 業種分類参照)

表 4

平成27年業種別四半期指数・対前期増減率

(平成22年=100 季節調整指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
製造工業	指 数	90.0	86.9	85.9	88.0	89.2	86.7	84.6	86.8	96.0	92.8	93.3	92.6	111.5	122.1	120.1	212.9
	対前期増減率%	3.4	△ 3.4	△ 1.2	2.4	2.9	△ 2.8	△ 2.4	2.6	3.8	△ 3.3	0.5	△ 0.8	9.4	9.5	△ 1.6	77.3
鉄鋼業	指 数	89.2	79.9	85.5	84.0	92.0	78.1	80.3	83.6	98.0	95.6	96.1	92.3	112.1	127.8	117.5	122.7
	対前期増減率%	△ 2.2	△ 10.4	7.0	△ 1.8	△ 2.2	△ 15.1	2.8	4.1	△ 2.4	△ 2.4	0.5	△ 4.0	4.1	14.0	△ 8.1	4.4
非鉄金属工業	指 数	107.9	106.8	99.3	103.2	106.2	106.1	99.2	104.1	133.2	127.4	122.5	111.7	131.1	137.6	131.8	121.6
	対前期増減率%	1.1	△ 1.0	△ 7.0	3.9	△ 1.5	△ 0.1	△ 6.5	4.9	7.1	△ 4.4	△ 3.8	△ 8.8	8.0	5.0	△ 4.2	△ 7.7
金属製品工業	指 数	87.1	92.1	86.7	85.5	84.9	90.7	84.5	82.5	104.5	97.4	93.0	95.6	145.0	126.4	130.6	135.9
	対前期増減率%	△ 1.1	5.7	△ 5.9	△ 1.4	△ 1.8	6.8	△ 6.8	△ 2.4	△ 5.1	△ 6.8	△ 4.5	2.8	△ 1.5	△ 12.8	3.3	4.1
はん用・生産用・業務用機械工業	指 数	108.9	105.7	105.2	114.2	105.2	101.3	98.0	108.6	91.2	89.8	86.6	77.6	102.6	109.7	144.6	162.1
	対前期増減率%	0.3	△ 2.9	△ 0.5	8.6	1.8	△ 3.7	△ 3.3	10.8	12.0	△ 1.5	△ 3.6	△ 10.4	44.9	6.9	31.8	12.1
電子部品・デバイス工業	指 数	69.0	71.4	62.4	56.5	68.0	72.0	61.1	54.7	3.0	2.7	2.4	3.6	3.1	2.9	3.3	5.9
	対前期増減率%	△ 9.6	3.5	△ 12.6	△ 9.5	△ 8.6	5.9	△ 15.1	△ 10.5	△ 6.3	△ 10.0	△ 11.1	50.0	△ 20.5	△ 6.5	13.8	78.8
電気機械工業	指 数	90.9	91.4	93.3	92.1	88.8	90.2	92.2	91.4	66.2	67.1	62.0	62.7	93.1	102.6	90.6	83.8
	対前期増減率%	9.0	0.6	2.1	△ 1.3	7.5	1.6	2.2	△ 0.9	6.3	1.4	△ 7.6	1.1	3.7	10.2	△ 11.7	△ 7.5
情報通信機械工業	指 数	92.6	86.2	88.1	106.4	91.7	86.4	88.2	107.4	117.3	123.0	99.0	95.9	247.8	565.2	205.3	188.1
	対前期増減率%	3.2	△ 6.9	2.2	20.8	△ 1.0	△ 5.8	2.1	21.8	20.9	4.9	△ 19.5	△ 3.1	86.7	128.1	△ 63.7	△ 8.4
輸送機械工業	指 数	88.5	81.1	79.8	76.2	84.6	77.4	75.9	73.5	107.9	91.8	89.0	77.8	90.5	102.4	97.4	512.1
	対前期増減率%	7.3	△ 8.4	△ 1.6	△ 4.5	6.4	△ 8.5	△ 1.9	△ 3.2	14.3	△ 14.9	△ 3.1	△ 12.6	18.1	13.1	△ 4.9	425.8
窯業・土石製品工業	指 数	82.2	78.3	79.1	80.4	73.3	71.5	71.5	73.5	73.4	68.3	65.7	64.5	93.1	95.5	90.9	85.1
	対前期増減率%	1.9	△ 4.7	1.0	1.6	△ 0.9	△ 2.5	0.0	2.8	3.2	△ 6.9	△ 3.8	△ 1.8	△ 6.4	2.6	△ 4.8	△ 6.4
化学工業	指 数	77.4	74.2	78.4	77.1	80.7	78.4	82.6	81.6	105.9	106.1	114.7	114.8	134.0	135.0	144.4	139.9
	対前期増減率%	0.7	△ 4.1	5.7	△ 1.7	1.6	△ 2.9	5.4	△ 1.2	1.3	0.2	8.1	0.1	8.5	0.7	7.0	△ 3.1
石油・石炭製品工業	指 数	90.9	102.1	88.8	93.7	91.5	99.3	91.7	94.1	77.3	77.2	79.4	88.6	93.4	89.7	98.8	102.7
	対前期増減率%	1.0	12.3	△ 13.0	5.5	1.7	8.5	△ 7.7	2.6	0.8	△ 0.1	2.8	11.6	△ 4.6	△ 4.0	10.1	3.9
プラスチック製品工業	指 数	73.5	73.8	71.7	72.8	71.2	69.6	68.6	69.1	73.1	75.4	74.4	77.8	99.8	106.4	104.4	108.6
	対前期増減率%	10.0	0.4	△ 2.8	1.5	6.4	△ 2.2	△ 1.4	0.7	7.8	3.1	△ 1.3	4.6	△ 2.3	6.6	△ 1.9	4.0
紙・紙加工品工業	指 数	113.3	114.4	115.2	113.9	101.3	104.7	105.4	99.2	94.0	80.1	72.9	92.2	76.9	69.7	65.7	76.2
	対前期増減率%	2.7	1.0	0.7	△ 1.1	△ 4.1	3.4	0.7	△ 5.9	14.2	△ 14.8	△ 9.0	26.5	△ 3.8	△ 9.4	△ 5.7	16.0
繊維工業	指 数	87.4	88.2	91.8	87.7	81.7	80.3	80.9	78.6	62.3	67.8	69.9	67.9	81.2	91.4	95.5	93.4
	対前期増減率%	0.5	0.9	4.1	△ 4.5	△ 2.0	△ 1.7	0.7	△ 2.8	△ 2.2	8.8	3.1	△ 2.9	△ 0.6	12.6	4.5	△ 2.2
食料品・飲料工業	指 数	99.8	98.3	97.5	98.7	99.1	98.8	97.1	97.2	115.6	114.3	116.8	116.6	101.4	101.8	101.4	100.9
	対前期増減率%	4.3	△ 1.5	△ 0.8	1.2	1.7	△ 0.3	△ 1.7	0.1	2.5	△ 1.1	2.2	△ 0.2	4.1	0.4	△ 0.4	△ 0.5
その他工業	指 数	106.2	104.0	102.8	98.0	102.8	101.2	101.3	93.9	122.9	115.2	107.3	102.8	128.5	134.6	130.4	135.4
	対前期増減率%	0.1	△ 2.1	△ 1.2	△ 4.7	△ 3.4	△ 1.6	0.1	△ 7.3	23.4	△ 6.3	△ 6.9	△ 4.2	12.5	4.7	△ 3.1	3.8
ゴム製品工業	指 数	94.7	89.0	83.1	76.0	92.1	91.0	87.8	81.7	122.9	115.2	107.3	102.8	128.5	134.6	130.4	135.4
	対前期増減率%	△ 1.3	△ 6.0	△ 6.6	△ 8.5	△ 8.0	△ 1.2	△ 3.5	△ 6.9	23.4	△ 6.3	△ 6.9	△ 4.2	12.5	4.7	△ 3.1	3.8
家具工業	指 数	112.3	113.3	108.2	95.1	113.3	113.6	108.5	94.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 3.5	0.9	△ 4.5	△ 12.1	△ 4.9	0.3	△ 4.5	△ 13.1	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	113.5	114.4	118.5	117.8	114.1	114.0	118.4	117.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	1.2	0.8	3.6	△ 0.6	1.9	△ 0.1	3.9	△ 0.7	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 公益事業	指 数	108.8	106.3	106.9	107.5	88.1	87.8	86.8	84.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 1.5	△ 2.3	0.6	0.6	△ 0.9	△ 0.3	△ 1.1	△ 3.1	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 機械工業	指 数	93.3	88.0	87.1	90.2	90.0	84.5	82.2	85.4	96.3	90.0	86.6	78.0	100.5	132.9	121.3	409.2
	対前期増減率%	4.1	△ 5.7	△ 1.0	3.6	4.5	△ 6.1	△ 2.7	3.9	9.1	△ 6.5	△ 3.8	△ 9.9	28.7	32.2	△ 8.7	237.3

*生産・出荷・在庫率は3か月平均(3か月平均比)、在庫は期末(期末比)

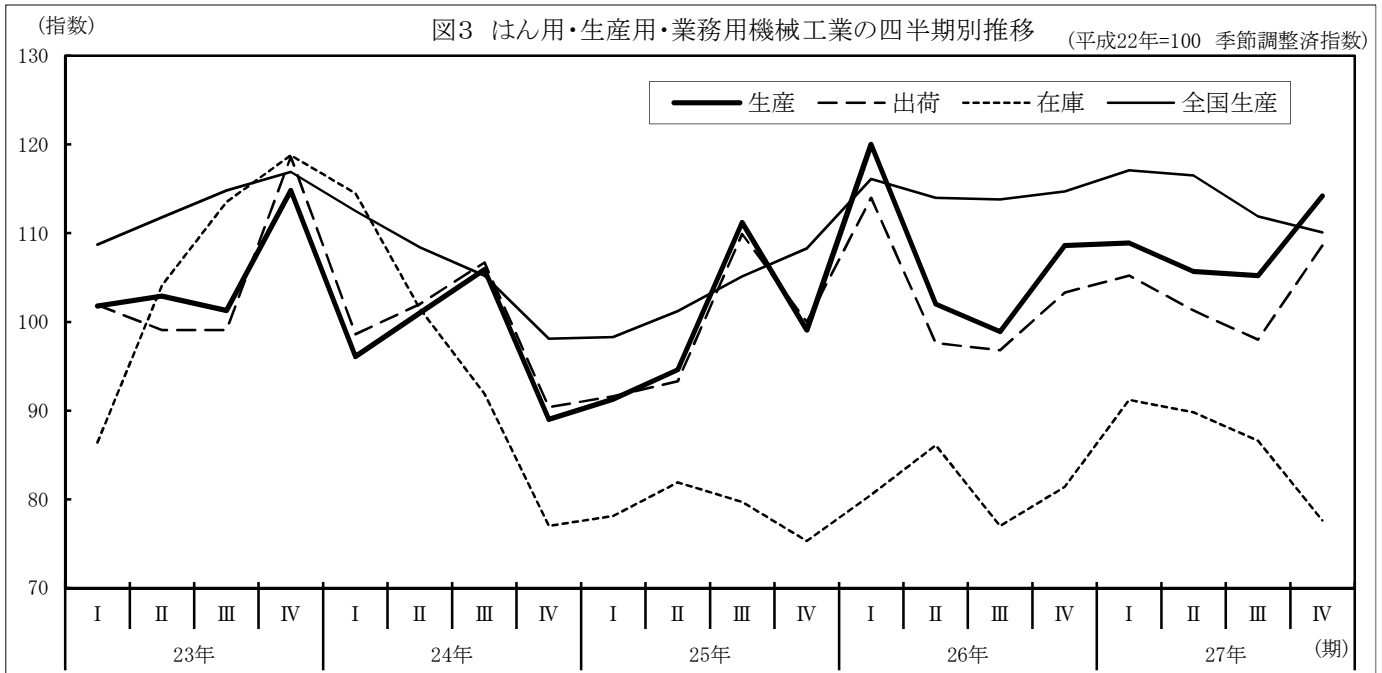
*公益事業、機械工業は参考系列(P83 業種分類参照)

2 各業種の動向

(1) 主要業種の動向

<はん用・生産用・業務用機械工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、107.2で前年比0.1%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.3%上昇、II期は同2.9%低下、III期も同0.5%低下、IV期は同8.6%上昇しました。

品目別にみると、装軌式トラクタや掘さく機械などが減少し、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが増加しました。

また、全国のはん用・生産用・業務用機械工業の生産指数(原指数)は、113.8で前年比0.7%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、102.0で前年比0.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.8%上昇、II期は同3.7%低下、III期も同3.3%低下、IV期は同10.8%上昇しました。

品目別にみると、装軌式トラクタや掘さく機械などが減少し、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、76.8で前年末比8.1%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比12.0%上昇、II期は同1.5%低下、III期も同3.6%低下、IV期も同10.4%低下しました。

品目別にみると、装軌式トラクタやマシニングセンタなどが減少し、掘さく機械などが増加しました。

表5 はん用・生産用・業務用機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

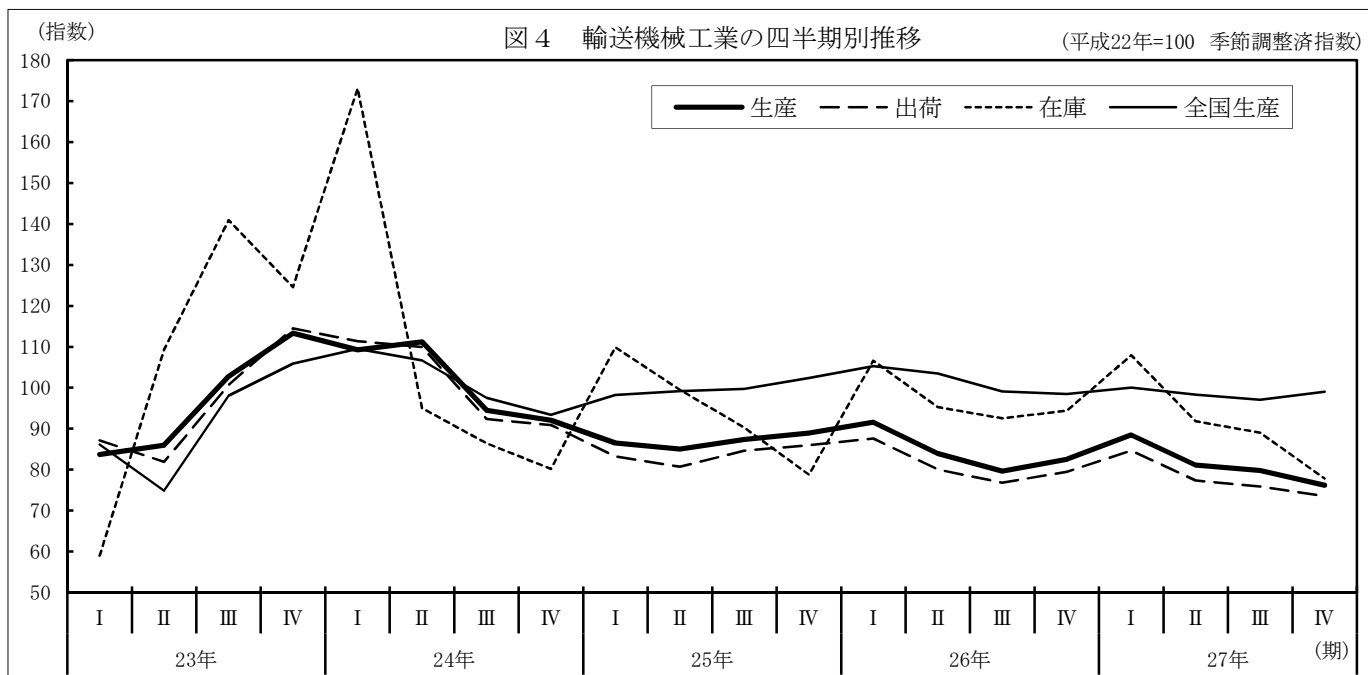
		26年	27年	27年				上昇又は低下に寄与した主な品目
				I	II	III	IV	
生産	指数	107.3	107.2	108.9	105.7	105.2	114.2	増 フラットパネル・ディスプレイ製造装置、 半導体製造装置など
	対前年(期)増減率%	8.4	△0.1	0.3	△2.9	△0.5	8.6	
出荷	指数	102.9	102.0	105.2	101.3	98.0	108.6	減 装軌式トラクタ、掘さく機械、蒸気タービン部品など
	対前年(期)増減率%	4.5	△0.9	1.8	△3.7	△3.3	10.8	
在庫	指数	83.6	76.8	91.2	89.8	86.6	77.6	増 フラットパネル・ディスプレイ製造装置、 半導体製造装置など
	対前年(期)末増減率%	6.5	△8.1	12.0	△1.5	△3.6	△10.4	
在庫	増	掘さく機械、建設用クレーンなど						
	減	装軌式トラクタ、マシニングセンタ、積算体積計など						

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

< 輸送機械工業 >

— 生産、出荷とも3年連続の低下 —



< 生産 >

生産指数(原指数)は、81.3で前年比3.7%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比7.3%上昇、II期は同8.4%低下、III期も同1.6%低下、IV期も同4.5%低下しました。

品目別にみると、駆動伝導・操縦装置部品や小型乗用車などが減少し、けん引車などが増加しました。

また、全国の輸送機械工業の生産指数(原指数)は、98.8で前年比2.8%低下し、2年ぶりに低下しました。

< 出荷 >

出荷指数(原指数)は、77.8で前年比3.8%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比6.4%上昇、II期は同8.5%低下、III期も同1.9%低下、IV期も同3.2%低下しました。

品目別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが減少し、けん引車などが増加しました。

< 在庫 >

在庫指数(原指数)は、62.8で前年末比21.8%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比14.3%上昇、II期は同14.9%低下、III期は同3.1%低下、IV期も同12.6%低下しました。

品目別にみると、普通トラックや大型バスなどが減少し、小型バスなどが増加しました。

表6 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

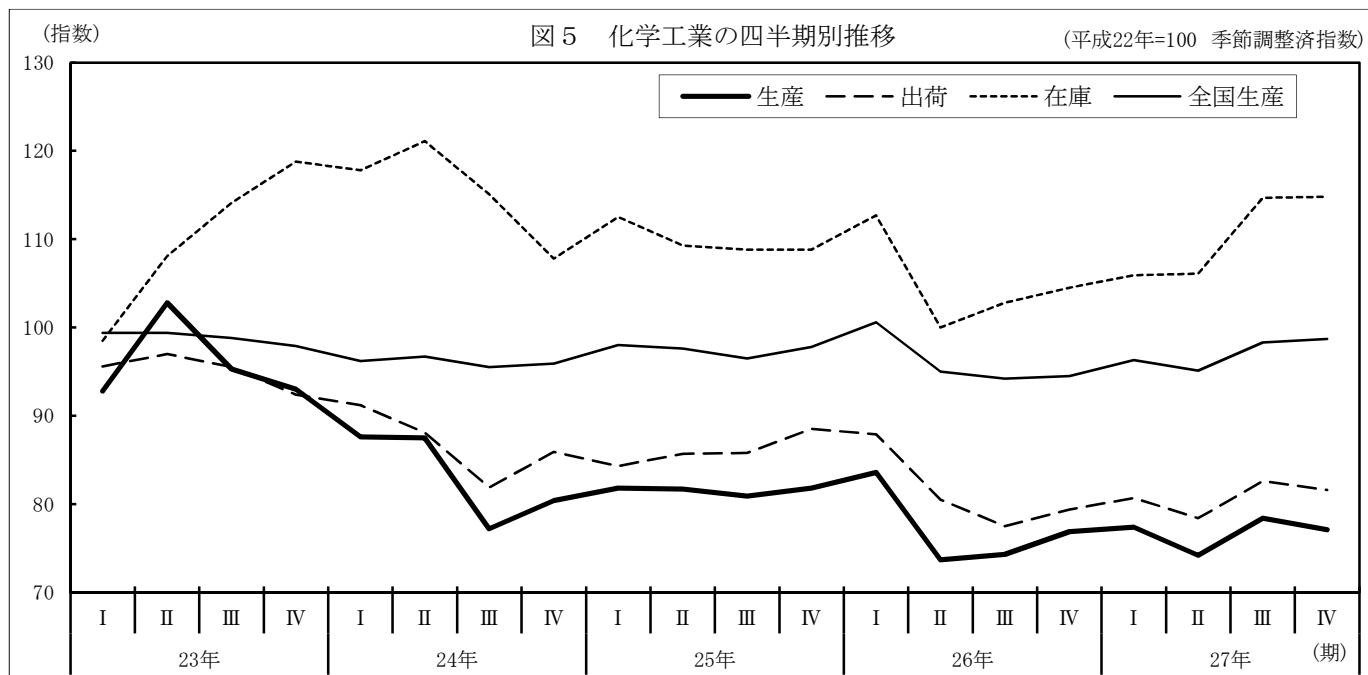
		26年		27年				上昇又は低下に寄与した主な品目						
		指数	増減率 %	I	II	III	IV							
生産	指数	84.4	△ 2.9	81.3	△ 3.7	88.5	7.3	81.1	△ 8.4	79.8	△ 1.6	76.2	△ 4.5	増 けん引車、特装ボデーなど 減 駆動伝導・操縦装置部品、小型乗用車、普通乗用車など
	対前年(期)増減率 %													
出荷	指数	80.9	△ 3.1	77.8	△ 3.8	84.6	6.4	77.4	△ 8.5	75.9	△ 1.9	73.5	△ 3.2	増 けん引車、小型バスなど 減 小型乗用車、普通乗用車、伝道駆動・操縦装置部品など
	対前年(期)増減率 %													
在庫	指数	80.3	13.7	62.8	△ 21.8	107.9	14.3	91.8	△ 14.9	89.0	△ 3.1	77.8	△ 12.6	増 小型バス、けん引車など 減 普通トラック、大型バス、小型トラック
	対前年(期)末増減率 %													

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<化学工業>

—生産、出荷とも5年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、76.7で前年比0.4%低下し、5年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.7%上昇、II期は同4.1%低下、III期は同5.7%上昇、IV期は同1.7%低下しました。

品目別にみると、ウレタンフォームやアクリロニトリルなどが減少し、化粧品などが増加しました。

また、全国の化学工業の生産指数(原指数)は、97.1で前年比1.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、80.8で前年比0.6%低下し、5年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.6%上昇、II期は同2.9%低下、III期は同5.4%上昇、IV期は同1.2%低下しました。

品目別にみると、ウレタンフォームやアクリロニトリルなどが減少し、化粧品などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、116.9で前年末比10.9%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比1.3%上昇、II期も同0.2%上昇、III期も同8.1%上昇、IV期も同0.1%上昇しました。

品目別にみると、合成ゴムや合成洗剤などが増加し、キシレンなどが減少しました。

表7 化学工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

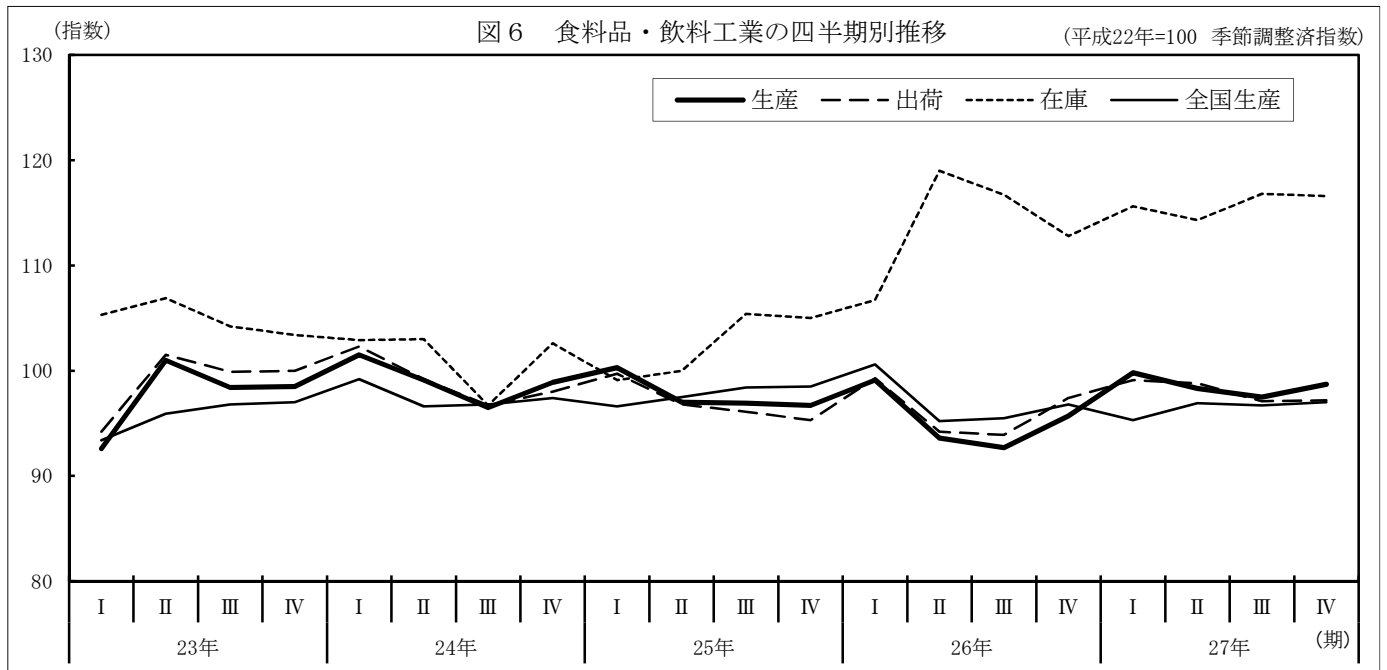
		26年		27年				上昇又は低下に寄与した主な品目			
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV	増	減	増	減
生産	指数	77.0	76.7	77.4	74.2	78.4	77.1	化粧品、合成洗剤など	ウレタンフォーム、アクリロニトリル、医薬品など	増	減
	対前年(期)増減率%	△ 5.5	△ 0.4	0.7	△ 4.1	5.7	△ 1.7				
出荷	指数	81.3	80.8	80.7	78.4	82.6	81.6	化粧品、エチレンなど	ウレタンフォーム、アクリロニトリル、医薬品など	増	減
	対前年(期)増減率%	△ 5.6	△ 0.6	1.6	△ 2.9	5.4	△ 1.2				
在庫	指数	105.4	116.9	105.9	106.1	114.7	114.8	合成ゴム、合成洗剤、純ベンゼンなど	キシレン、写真フィルムなど	増	減
	対前年(期)末増減率%	△ 3.7	10.9	1.3	0.2	8.1	0.1				

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<食料品・飲料工業>

—生産、出荷とも3年ぶりに上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、98.4で前年比3.6%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比4.3%上昇、II期は同1.5%低下、III期も同0.8%低下、IV期は同1.2%上昇しました。

品目別にみると、清涼飲料(炭酸飲料除く)や蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)などが増加し、チーズなどが減少しました。

また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(原指数)は、96.5で前年比0.3%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、97.9で前年比2.0%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.7%上昇、II期は同0.3%低下、III期も同1.7%低下、IV期は同0.1%上昇しました。

品目別にみると、清涼飲料(炭酸飲料除く)やビール・発泡酒などが増加し、冷凍調理食品などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、110.6で前年末比2.1%上昇し、3年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比2.5%上昇、II期は同1.1%低下、III期は同2.2%上昇、IV期は同0.2%低下しました。

品目別にみると、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)や練乳・粉乳などが増加し、チョコレートなどが減少しました。

表8 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		26年	27年				
				I	II	III	IV
生産	指数	95.0	98.4	99.8	98.3	97.5	98.7
	対前年(期)増減率%	△ 2.7	3.6	4.3	△ 1.5	△ 0.8	1.2
出荷	指数	96.0	97.9	99.1	98.8	97.1	97.2
	対前年(期)増減率%	△ 1.0	2.0	1.7	△ 0.3	△ 1.7	0.1
在庫	指数	108.3	110.6	115.6	114.3	116.8	116.6
	対前年(期)末増減率%	5.1	2.1	2.5	△ 1.1	2.2	△ 0.2

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

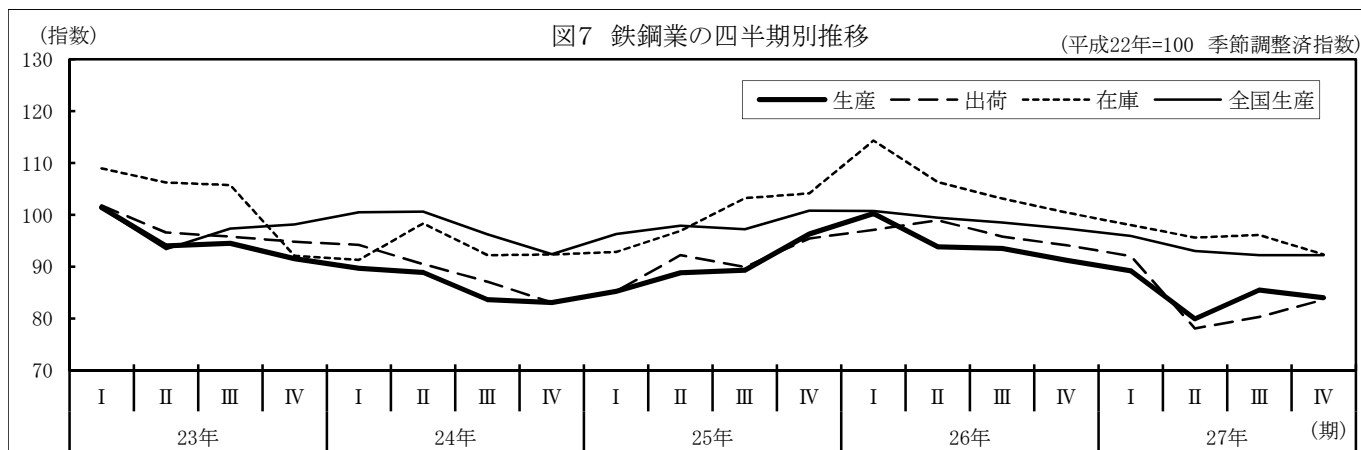
*品目順は寄与度順に列記

上昇又は低下に寄与した主な品目		
生産	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、ビール・発泡酒など
	減	チーズ、チョコレートなど
出荷	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、ビール・発泡酒、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)など
	減	冷凍調理食品、チーズなど
在庫	増	蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、練乳・粉乳、ビール・発泡酒など
	減	チョコレート、小麦粉など

(2) その他の業種の動向

<鉄鋼業>

－生産、出荷とも3年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、84.2で前年比10.8%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、めっき鋼材や特殊鋼鋼管などが減少しました。
また、全国の鉄鋼業の生産指数(同)は、93.3で前年比5.7%低下し、4年ぶりに低下しました。

<出荷>

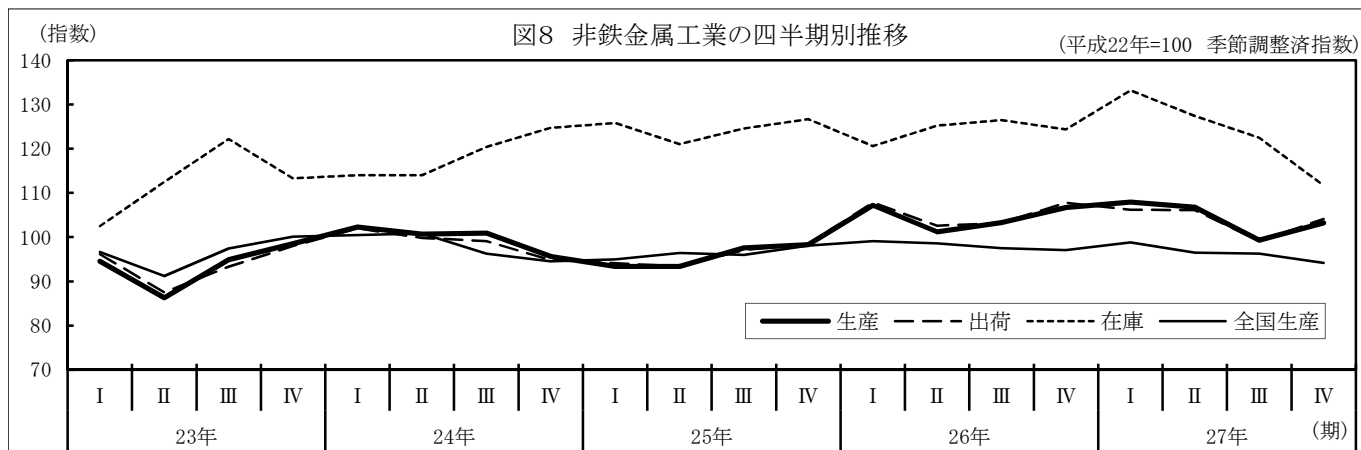
出荷指数(原指数)は、83.5で前年比13.5%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、特殊鋼鋼管や特殊鋼熱間圧延鋼材などが低下し、銅半製品が増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、90.7で前年末比8.6%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、特殊鋼鋼管や普通鋼鋼板などが減少し、普通鋼鋼帯が増加しました。

<非鉄金属工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、104.3で前年比0.1%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、伸銅製品が減少し、光ファイバなどが増加しました。
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、96.5で前年比1.6%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

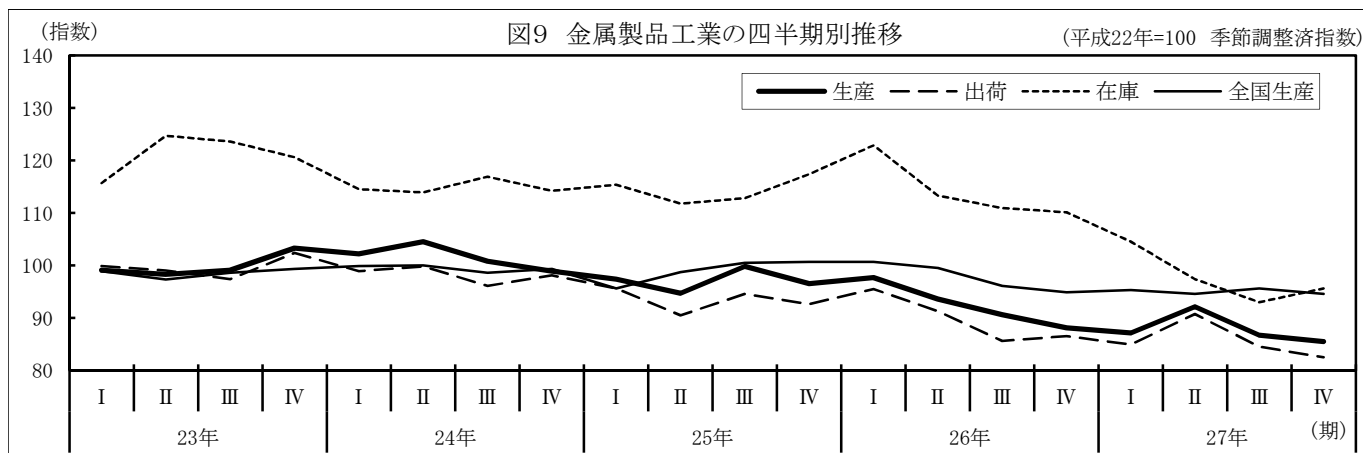
出荷指数(原指数)は、103.9で前年比1.1%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、伸銅製品や電力用電線・ケーブルが減少し、光ファイバなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、116.1で前年末比13.1%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、伸銅製品や光ファイバなどが減少し、銅電線が増加しました。

<金属製品工業>

—生産、出荷とも3年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、87.6で前年比5.2%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、ガス機器やばねなどが減少し、ベンディングロール成型鋼管などが増加しました。
また、全国の金属製品工業の生産指数(同)は、95.0で前年比2.8%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

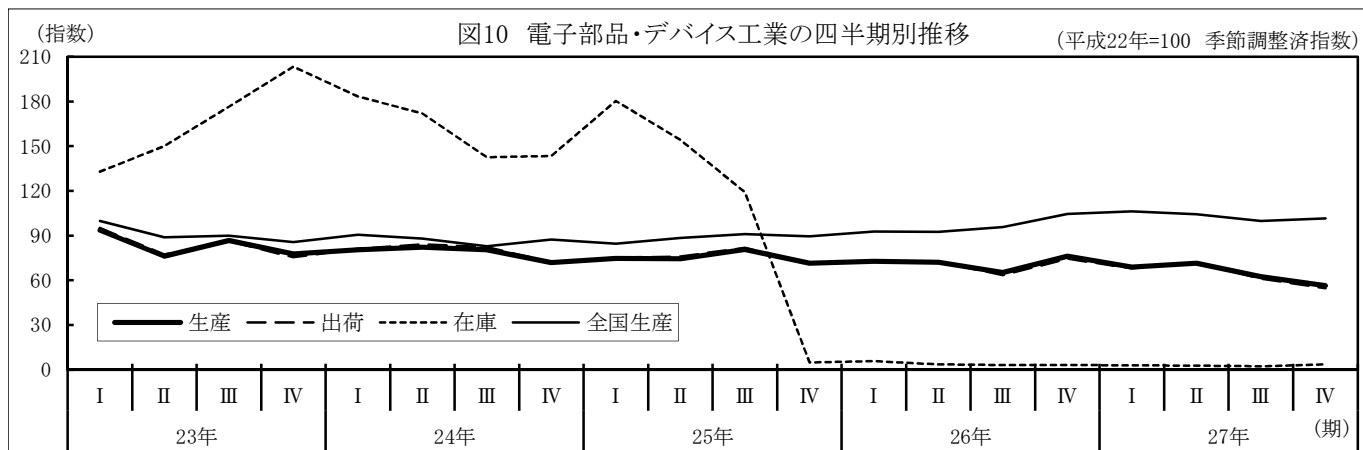
出荷指数(原指数)は、85.4で前年比4.7%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、ガス機器や食缶などが減少し、ベンディングロール成型鋼管などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、94.9で前年末比11.5%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、飲料用アルミ缶やガス機器などが減少し、食缶などが増加しました。

<電子部品・デバイス工業>

—生産、出荷とも5年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、64.9で前年比9.0%低下し、5年連続して低下しました。
品目別にみると、コネクタやモス型半導体集積回路(CCD)などが減少し、線形半導体集積回路が増加しました。
また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、102.9で前年比6.6%上昇し、3年連続して上昇しました。

<出荷>

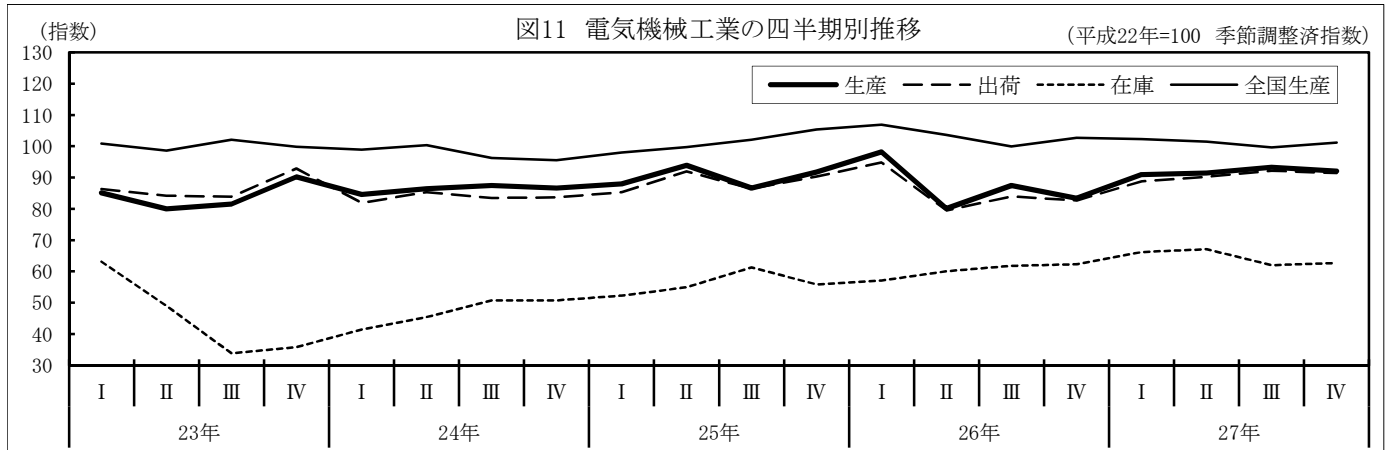
出荷指数(原指数)は、63.9で前年比9.1%低下し、5年連続して低下しました。
品目別にみると、モス型半導体集積回路(CCD)やコネクタなどが減少し、線形半導体集積回路が増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、2.3で前年末比43.8%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、モス型半導体集積回路(CCD)が増加しました。

<電気機械工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、92.1で前年比4.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、その他の電子応用装置や高圧遮断機などが増加し、交流電動機などが減少しました。
また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、101.0で前年比2.1%低下し、3年ぶりに低下しました。

<出荷>

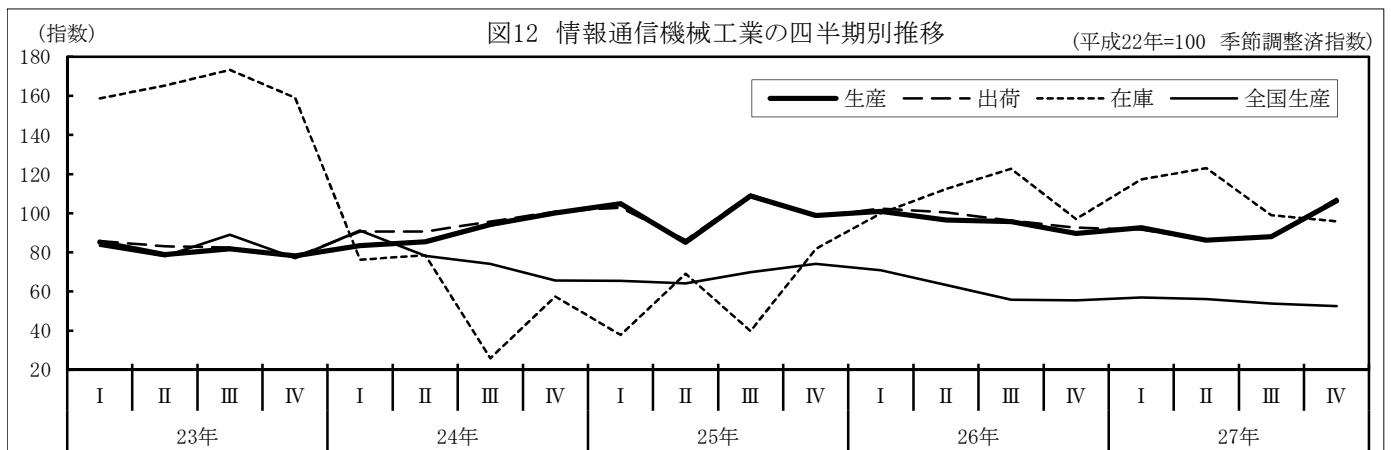
出荷指数(原指数)は、90.5で前年比5.4%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、その他の電子応用装置や高圧遮断機などが増加し、低圧開閉スイッチなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、63.2で前年末比0.5%低下し、4年ぶりに低下しました。
品目別にみると、蛍光ランプが低下し、自動車用照明器具などが増加しました。

<情報通信機械工業>

－生産、出荷とも2年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、93.4で前年比4.0%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、交換機や基地局通信装置などが減少し、パーソナルコンピュータなどが増加しました。
また、全国の情報通信機械工業の生産指数(同)は、54.9で前年比10.6%低下し、5年連続して低下しました。

<出荷>

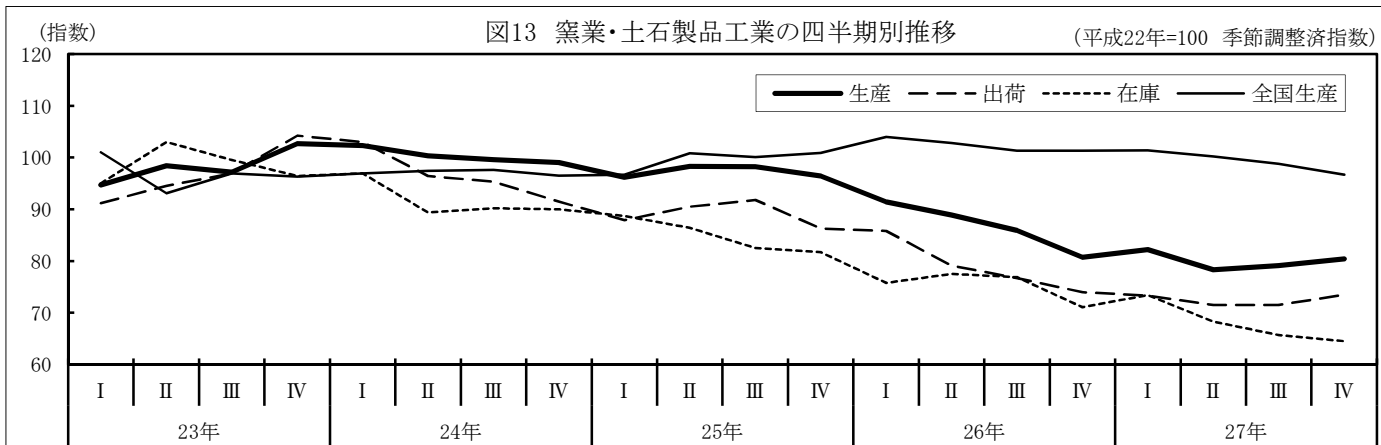
出荷指数(原指数)は、93.3で前年比5.8%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、基地局通信装置や交換機などが減少し、パーソナルコンピュータなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、113.4で前年末比3.3%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、陸上移動通信装置やガス警報器が減少し、パーソナルコンピュータが増加しました。

<窯業・土石製品工業>

—生産、出荷とも3年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、80.0で前年比7.5%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、生コンクリートやガラス製容器類などが減少し、ガラス短繊維製品などが増加しました。
また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、99.2で前年比3.0%低下し、4年ぶりに低下しました。

<出荷>

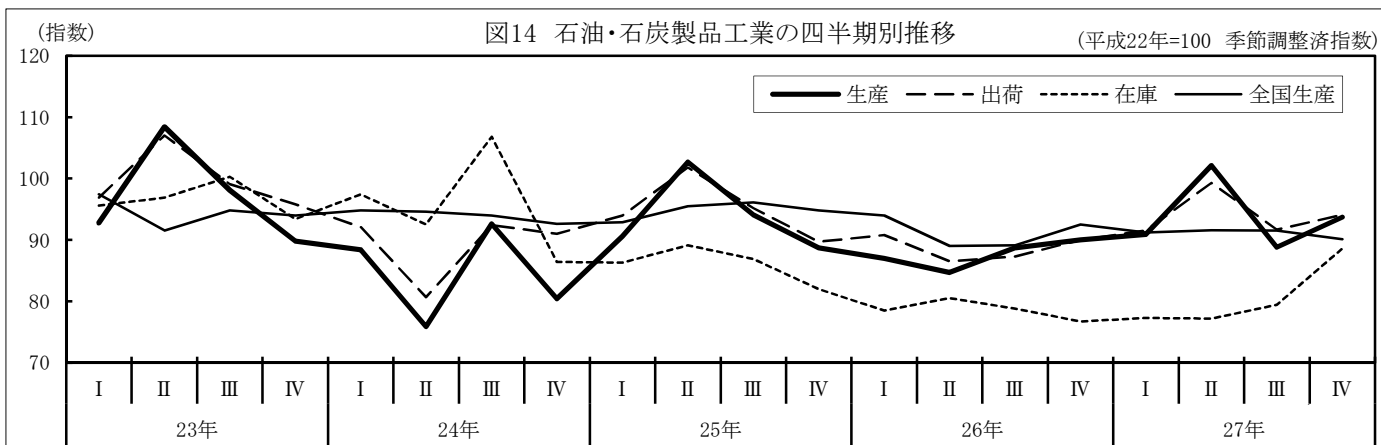
出荷指数(原指数)は、72.4で前年比7.9%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、生コンクリートやガラス基礎製品などが減少し、ガラス短繊維製品などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、63.6で前年末比9.1%低下し、4年連続して低下しました。
品目別にみると、ガラス製容器類や護岸用コンクリートブロックなどが減少し、ガラス短繊維製品などが増加しました。

<石油・石炭製品工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、93.5で前年比6.6%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、ガソリンや軽油などが増加し、コークスなどが減少しました。
また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、91.1で前年比0.2%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

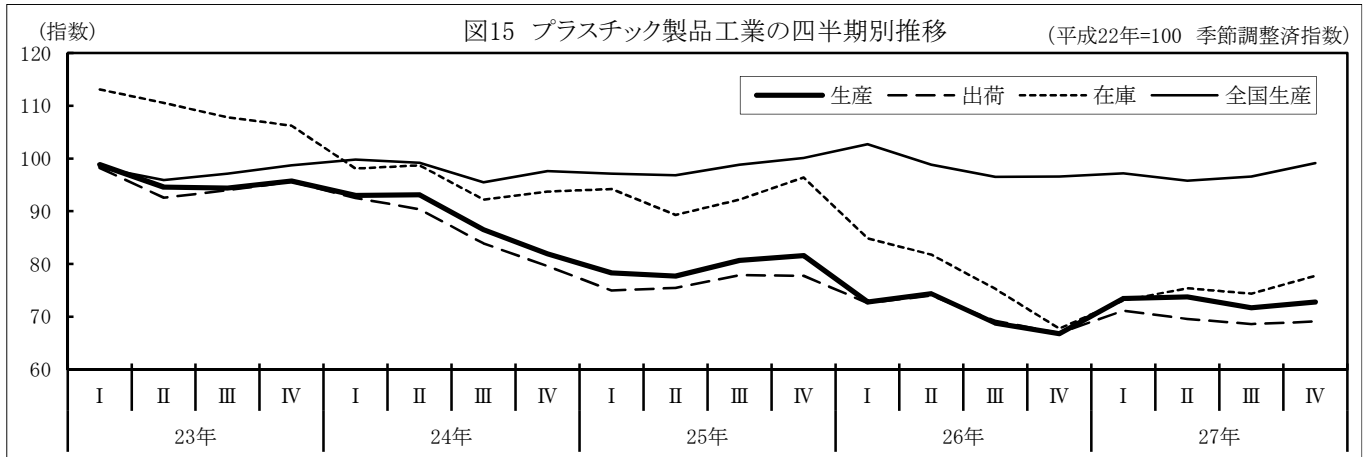
出荷指数(原指数)は、94.0で前年比6.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、ガソリンや軽油などが増加し、液化石油ガスなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、83.7で前年末比16.7%上昇し、7年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、ガソリンやC重油などが増加し、コークスなどが減少しました。

<プラスチック製品工業>

－生産は5年ぶりの上昇、出荷は5年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、72.9で前年比3.1%上昇し、5年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、プラスチック製容器やプラスチック製機械器具部品などが増加し、発泡プラスチック製品などが減少しました。
 また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、97.1で前年比1.5%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

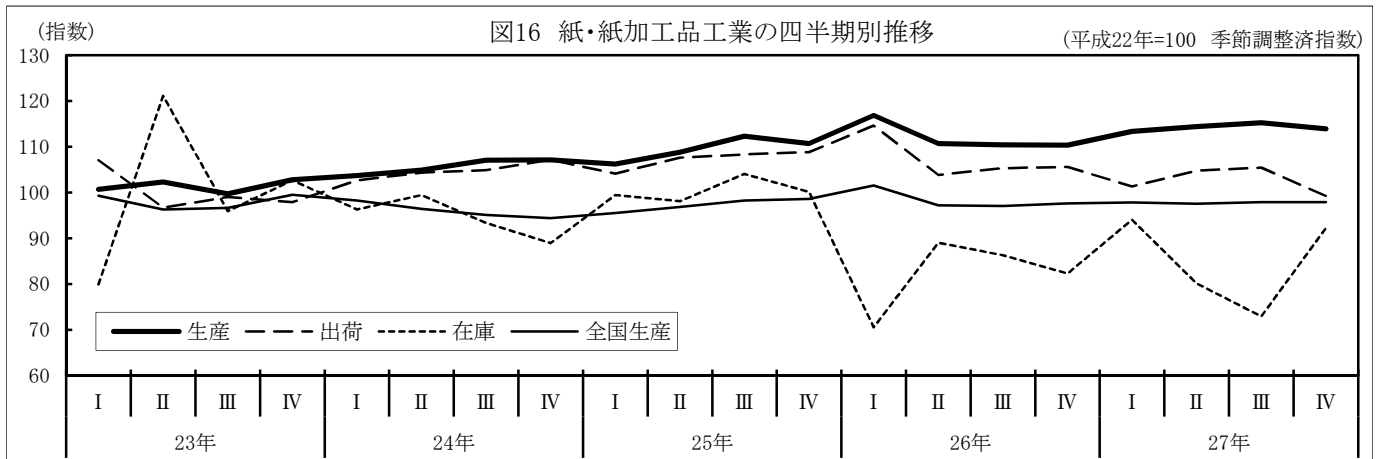
出荷指数(原指数)は、69.5で前年比1.7%低下し、5年連続して低下しました。
 品目別にみると、プラスチック製機械器具部品や発泡プラスチック製品などが減少し、日用品・雑貨プラスチック製品などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、78.2で前年末比14.3%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製容器などが増加し、プラスチック製フィルム・シートなどが減少しました。

<紙・紙加工品工業>

－生産は6年連続の上昇、出荷は2年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、114.1で前年比1.9%上昇し、6年連続して上昇しました。
 品目別にみると、段ボールシートが増加し、衛生用紙が減少しました。
 また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、97.7で前年比0.5%低下し、3年ぶりに低下しました。

<出荷>

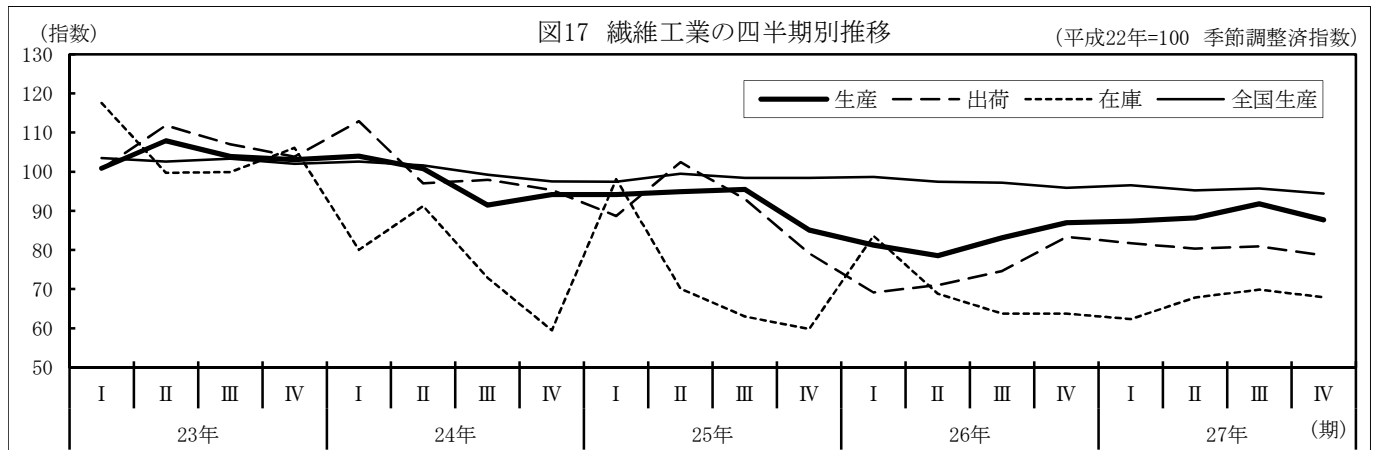
出荷指数(原指数)は、102.3で前年比4.7%低下し、2年連続して低下しました。
 品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、81.9で前年末比15.4%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが増加しました。

<繊維工業>

—生産、出荷とも4年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、88.7で前年比7.4%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、合成繊維やニット・織物製外衣が増加し、不織布などが減少しました。
また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、95.4で前年比1.9%低下し、4年連続して低下しました。

<出荷>

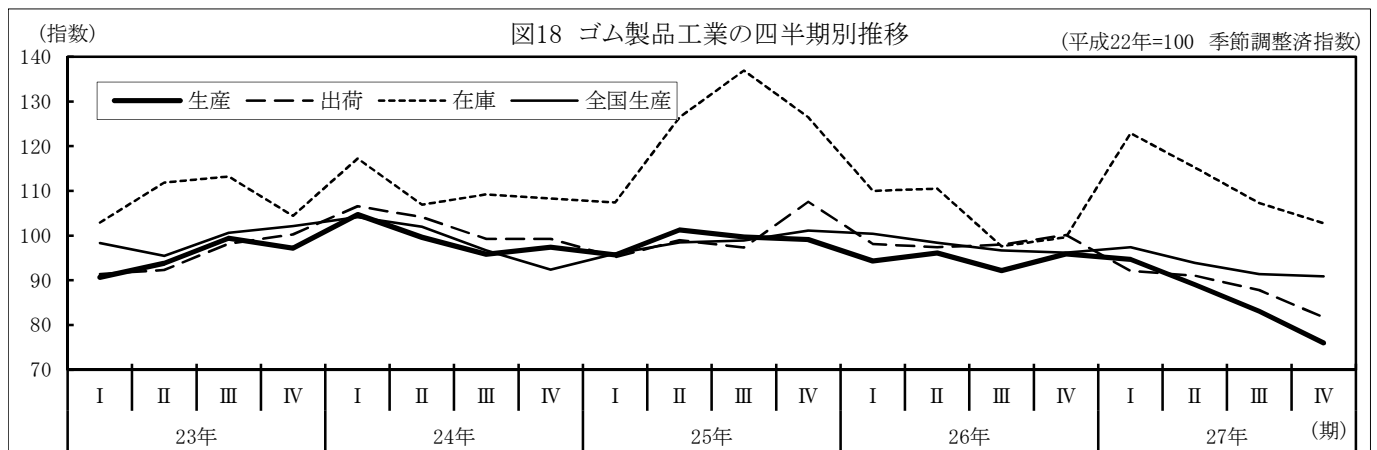
出荷指数(原指数)は、80.9で前年比7.9%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、合成繊維やニット・織物製外衣が増加し、不織布などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、80.2で前年末比9.4%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、ふとんや合成繊維などが増加しました。

<ゴム製品工業>

—生産、出荷とも3年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、85.6で前年比9.6%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、工業用ゴム製品やコンベヤベルトなどが減少しました。
また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、93.4で前年比4.5%低下し、5年連続して低下しました。

<出荷>

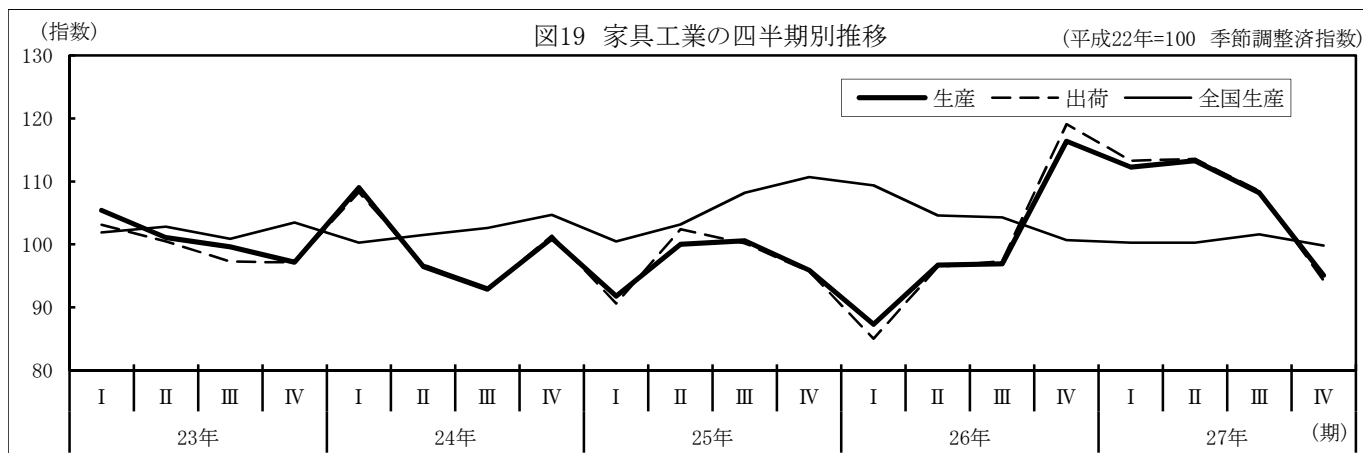
出荷指数(原指数)は、88.4で前年比10.6%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、工業用ゴム製品やコンベヤベルトなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、93.2で前年末比1.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、ゴムホースやコンベヤベルトが増加し、工業用ゴム製品が減少しました。

<家具工業>

—生産、出荷とも2年連続の上昇—



<生産>

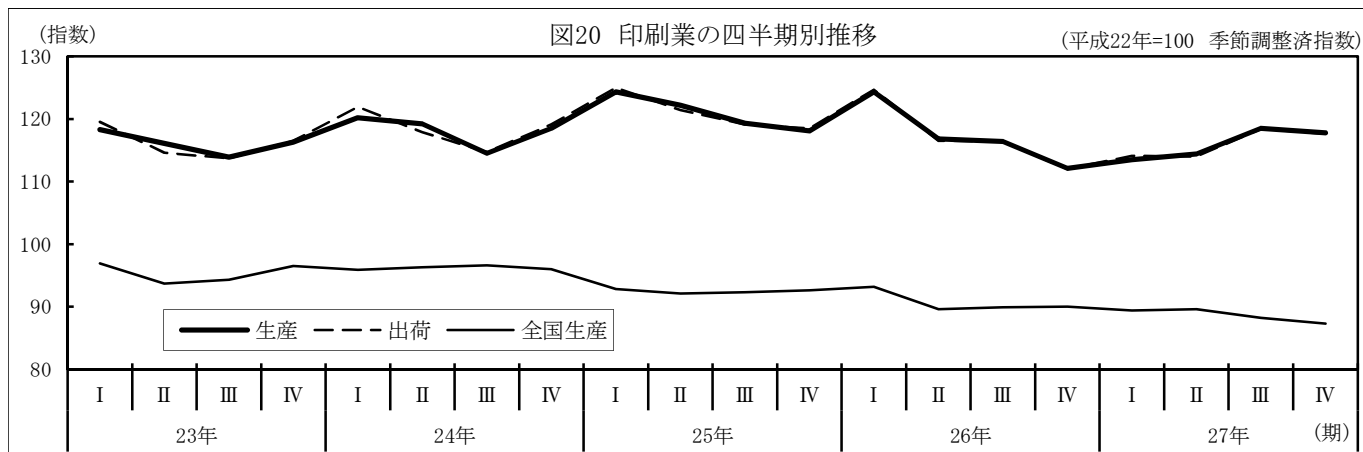
生産指数(原指数)は、106.8で前年比7.9%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、金属製いすやその他の金属製家具が増加し、システムキッチンなどが減少しました。
また、全国の家具工業の生産指数(同)は、100.4で前年比4.2%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、107.2で前年比8.5%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、金属製いすやその他の金属製家具が増加し、システムキッチンなどが減少しました。

<印刷業>

—生産、出荷とも2年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、116.0で前年比1.1%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、商業印刷や建装材印刷などが減少し、包装印刷が増加しました。
また、全国の印刷業の生産指数(同)は、88.6で前年比2.3%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、116.0で前年比1.1%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、商業印刷や建装材印刷などが減少し、包装印刷が増加しました。

3 財別の出荷動向

ー 最終需要財は2年連続して上昇、生産財は5年連続の低下 ー

平成27年の出荷動向を特殊分類による財別で見ると、**最終需要財出荷指数**（原指数）は、91.3で前年比1.1%上昇し、2年連続して上昇しました。

また、**生産財出荷指数**（原指数）は、82.2で前年比3.6%低下し、5年連続して低下しました。

これらの財を四半期別（季節調整済指数）にみると、最終需要財はⅠ期は前期比3.9%上昇、Ⅱ期は同2.4%低下、Ⅲ期も同3.4%低下、Ⅳ期は同5.5%上昇しました。生産財はⅠ期は前期比1.8%上昇、Ⅱ期は同3.5%低下、Ⅲ期も同1.9%低下、Ⅳ期も同0.7%低下しました。

(1) 最終需要財

ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数（原指数）は、106.0で前年比1.6%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、フラットパネル・ディスプレイ製造装置や半導体製造装置などが増加し、装軌式トラクタなどが減少しました。

建設財出荷指数（原指数）は、90.3で前年比7.4%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、生コンクリートやガス機器などが減少し、ベンディングロール成型鋼管などが増加しました。

イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

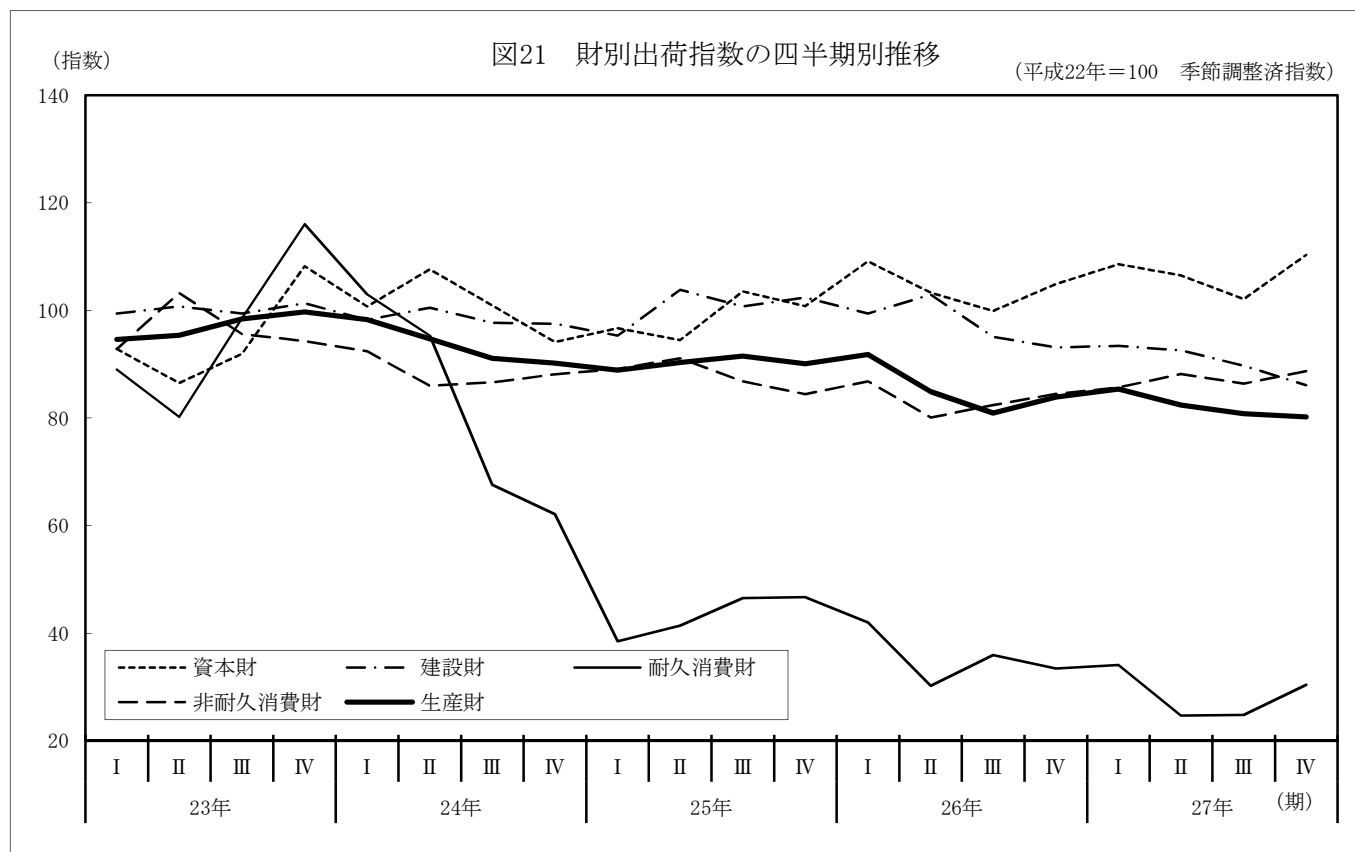
耐久消費財出荷指数（原指数）は、28.8で前年比18.9%低下し、5年連続して低下しました。品目別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが減少し、パーソナルコンピュータなどが増加しました。

非耐久消費財出荷指数（原指数）は、87.1で前年比4.4%上昇し、9年ぶりに上昇しました。品目別にみると、ガソリンや清涼飲料（炭酸飲料除く）などが増加し、チーズなどが減少しました。

(2) 生産財

品目別にみると、ウレタンフォームや蒸気タービン部品などが減少し、軽油などが増加しました。

（P19表9、表10参照）



（特殊分類についてはP83、P85表11参照）

表 9

財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(平成22年=100)

財	年・期	平成24年	25年	26年	27年	27年				
						IV	I	II	III	IV
製造工業	指数	94.5	90.1	87.7	86.6	86.7	89.2	86.7	84.6	86.8
	対前年(期)増減率%	△ 1.6	△ 4.7	△ 2.7	△ 1.3	3.1	2.9	△ 2.8	△ 2.4	2.6
最終需要財	指数	95.1	90.0	90.3	91.3	90.1	93.6	91.4	88.3	93.2
	対前年(期)増減率%	△ 0.2	△ 5.4	0.3	1.1	3.2	3.9	△ 2.4	△ 3.4	5.5
投資財	指数	101.3	99.0	103.4	104.0	103.3	106.9	104.6	100.2	106.8
	対前年(期)増減率%	6.6	△ 2.3	4.4	0.6	4.1	3.5	△ 2.2	△ 4.2	6.6
資本財	指数	101.6	98.7	104.3	106.0	104.9	108.6	106.5	102.1	110.3
	対前年(期)増減率%	7.9	△ 2.9	5.7	1.6	5.0	3.5	△ 1.9	△ 4.1	8.0
建設財	指数	98.8	100.5	97.5	90.3	93.1	93.4	92.6	89.7	86.1
	対前年(期)増減率%	△ 1.1	1.7	△ 3.0	△ 7.4	△ 2.1	0.3	△ 0.9	△ 3.1	△ 4.0
消費財	指数	87.2	78.4	73.3	74.8	73.8	75.0	74.8	73.3	76.5
	対前年(期)増減率%	△ 9.0	△ 10.1	△ 6.5	2.0	1.4	1.6	△ 0.3	△ 2.0	4.4
耐久消費財	指数	82.3	43.4	35.5	28.8	33.4	34.1	24.7	24.8	30.4
	対前年(期)増減率%	△ 13.0	△ 47.3	△ 18.2	△ 18.9	△ 7.0	2.1	△ 27.6	0.4	22.6
非耐久消費財	指数	88.5	87.8	83.4	87.1	84.5	85.7	88.2	86.4	88.7
	対前年(期)増減率%	△ 7.9	△ 0.8	△ 5.0	4.4	2.5	1.4	2.9	△ 2.0	2.7
生産財	指数	93.8	90.2	85.3	82.2	83.9	85.4	82.4	80.8	80.2
	対前年(期)増減率%	△ 2.9	△ 3.8	△ 5.4	△ 3.6	3.7	1.8	△ 3.5	△ 1.9	△ 0.7

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 10

財別出荷指数の上昇又は低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目		
			増	減	
上昇	非耐久消費財	4.4	0.71	増	ガソリン、清涼飲料(炭酸飲料除く)、化粧品など
				減	チーズ、医薬品など
資本財	1.6	0.46	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置、マシニングセンタなど	
			減	装軌式トラクタ、掘さく機械など	
低下	生産財	△ 3.6	△ 1.81	増	軽油、ナフサなど
				減	ウレタンフォーム、蒸気タービン部品、駆動伝導・操縦装置部品など
	耐久消費財	△ 18.9	△ 0.34	増	パーソナルコンピュータ、除湿機
				減	小型乗用車、普通乗用車、ふとんなど
建設財	△ 7.4	△ 0.30	増	ベンディングロール成型鋼管、ガラス短繊維製品など	
			減	生コンクリート、ガス機器、普通鋼鋼管など	

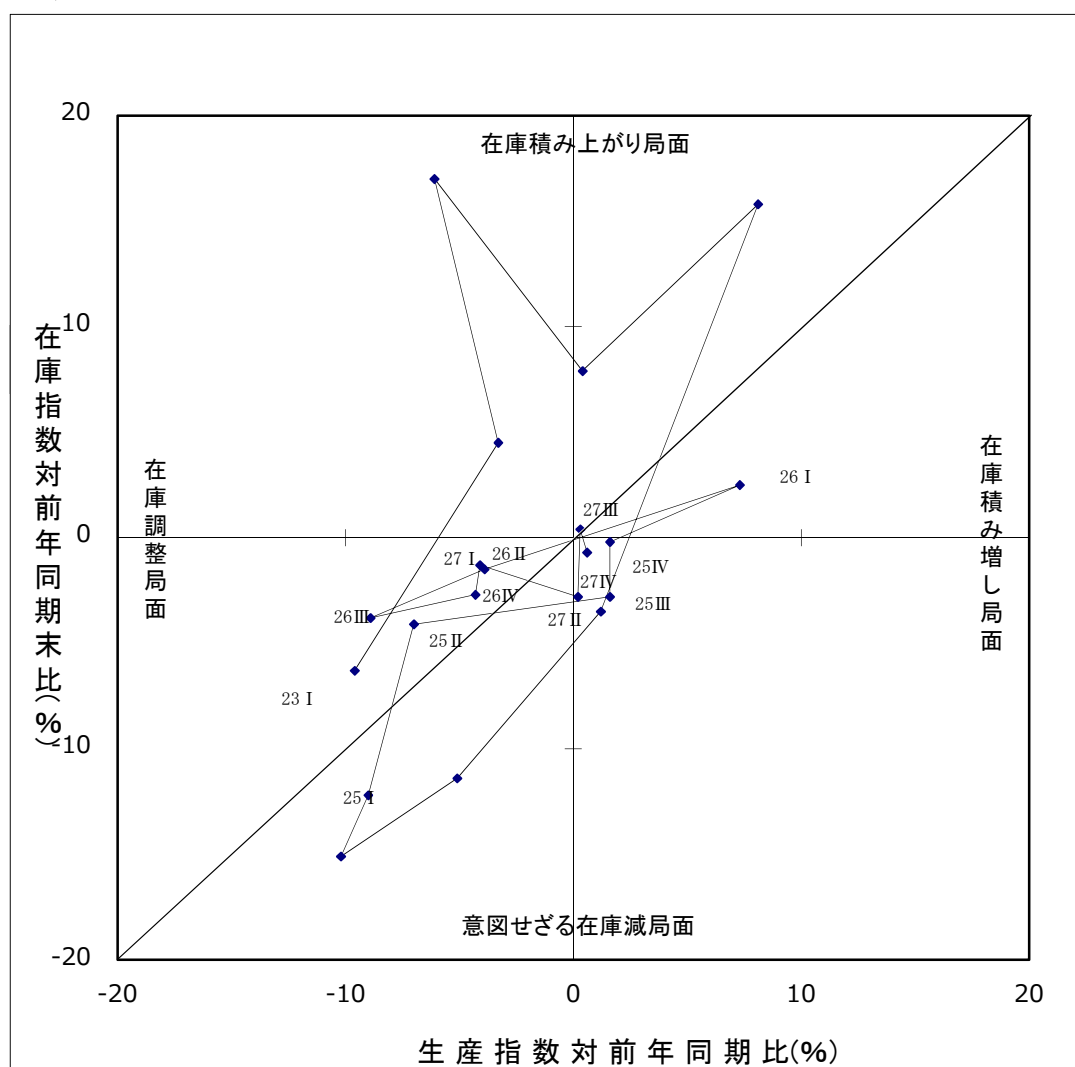
<参考> 在庫循環図

平成27年Ⅰ期の生産指数（原指数）は前年同期比4.1%低下し、在庫指数（同）は前年同期末比1.3%低下しました。Ⅱ期の生産指数（同）は前年同期比0.2%上昇し、在庫指数（同）は前年同期末比2.8%低下しました。Ⅲ期の生産指数（同）は前年同期比0.3%上昇し、在庫指数（同）は前年同期末比0.4%上昇しました。Ⅳ期の生産指数（同）は前年同期比0.6%上昇し、在庫指数（同）は前年同期末比0.7%低下しました。

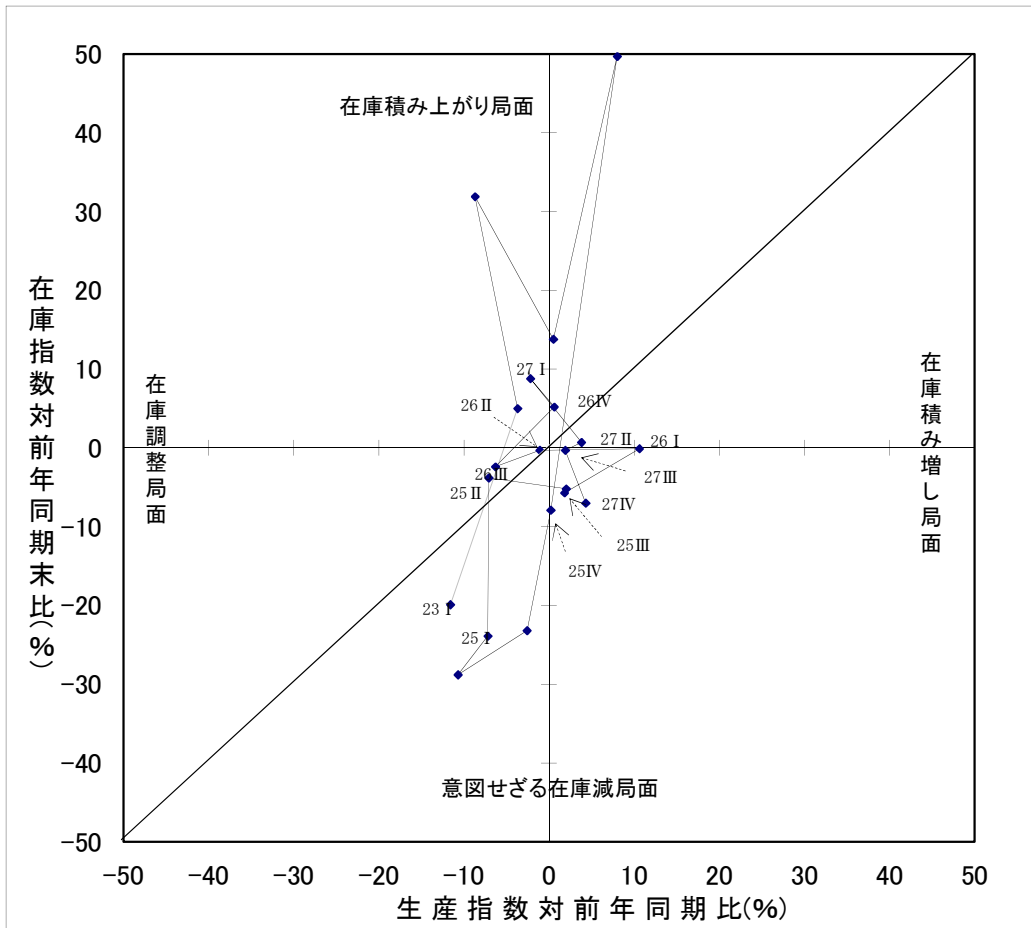
※在庫循環図の見方（生産と在庫について、以下のような循環が見られる場合が多い。）

- 意図せざる在庫減局面：需要が予測を上回り、一時的に在庫が減少する。
- 在庫積み増し局面：生産を増加させて、在庫を積み増している。
- 在庫積み上がり局面：需要が予測を下回り、在庫が積みあがってしまう。
- 在庫調整局面：生産を縮小し、積みあがった在庫を減らしている。

製造工業



最終需要財



生産財

